

令和8年度 第2回

進路説明会資料

令和8年10月28日(水)



入試のことを、都立高校は学力検査を行うので受検、私立高校は入学試験を行うので受験といいます。
現在(令和8年度・2026年度)の中学3年生が、令和9年度の4月に高校進学する入試なので、
「令和9年度入試・2027年度入試」といいます。

3年 組 番 氏名

目 次

志望校をどう選ぶか、学校説明会のポイント	2
実際に受験する学校の選び方	3
2 学期進路関係の予定	4
第2回三者面談に向けて、奨学金のお知らせ	5
都立高校入学者選抜について	6
1 令和9年度入学者選抜における主な変更点	6
2 令和9年度東京都立高等学校等の第一学年生徒の募集人員について	7
3 主な日程、4 選抜の種類、5 推薦に基づく選抜	8
6 学力検査に基づく選抜	14
7 インフルエンザ等学校感染症罹患者等に対する追検査	24
8 受検上の配慮	25
9 その他	26
10 東京都立産業技術高等専門学校入学者選抜実施概要について	28
私立高校について	
1 令和9年度 都内私立高等学校入学者選抜実施要項	30
2 推薦入試	31
3 一般入試	33
4 入試相談、	34
5 自己推薦、6 出願書類、7 推薦基準にかかわること	35
今後の提出物・手続きなどについて	36
1 家庭・中学校間でやりとりしていく書類について	36
2 受験写真	38
3 地域優遇・指定校推薦	38
知っておきましょう、保護者の方へのお願い	41
資料 1 EAST-J YEAR3 受験について	42
資料 2 インターネットを活用した出題について1・2	45
資料 3 私立高校 インターネットを活用した出願について(例)	47
資料 3 推薦受験(検)資格の認定	48
資料 4 都立高校入学試験選抜における各種手続き様式	49

志望校をどう選ぶか ～自分に合った進路先とは?～

進路を考えるということは、ただ目先のことを考えるのではなく、自分はどう生きるのか、「生き方」を考えることにつながります。単に成績面だけで高校を選ぶのではなく、自分が3年間通いきれるか、充実した3年間を過ごすことができるのか等、成績のレベルだけではない重要なポイントがいくつもあります。自分が3年間通うこと、さらに家族をはじめ周囲の援助を受けて進学できることなどを念頭に、自分で積極的に高校を知る努力をしましょう。

〈進路を考えたときのチェックポイント〉

- (1) 校風・教育方針は自分にあっているか・・・高校は、学校によって様々な特色があります。公立高校も私立高校も、すべての高校がいろいろと自分の学校の特色を打ち出そうとしています。有意義な高校生活が送れるよう、その高校の特色、方針を前もって調べておくことが大切です。
- (2) 自分の興味・関心に合っているか、将来の進路に合っているか・・・本当に自分の適性や実力にあった進路を選択しなければ後悔することになります。興味・関心を生かせる学科・コース、自分を生かせる部活動や教育活動があるか、大学への進学指導やカリキュラムの工夫があるかどうか、自分自身で情報を集めましょう。
- (3) 通学に便利か・・・高校へはバスや電車、自転車などを利用して通学するケースが多くなるでしょう。3年間毎日通うことを考え、通学に無理のない範囲内で志望校を選んでいくようにしましょう。実際に志望の高校に行って、電車に乗っている時間・混雑具合・駅から高校までの通学路なども、細かくチェックしましょう。
- (4) 施設が充実しているか・・・グラウンドや校庭の広さ、体育館、トレーニングマシンなどの設備、冷暖房完備、図書館、自習室、トイレ、学食など、高校の環境や施設・設備も重要なポイントの一つです。自分がその高校へ進学する理由、目的、やりたいことなど考えあわせ、自分の目で見て確かめるようにしましょう。

学校説明会のチェックポイント

今月は高校の学校説明会がピークに入ってきます。高校の説明会や見学会に参加するための注意点については、今までの「進路だより」の中でもお知らせしてきましたが、特に私立高校の場合は、この時期の学校説明会では、「募集要項」も発表され、「推薦入試の基準」や「出願から入学までの日程」、「手続き」などに関する説明が行われます。また、この時期の説明会や個別相談会への参加を、受験の条件としている学校もあります。志望校候補として考えている学校については、説明会の日程等を確認し、必ず一度は参加してください。実際に自分の目で高校のようすを見ておくことは大切です。中学校からの事前予約が必要な場合もありますので、まずは担任の先生に相談したり、インターネットで情報を手に入れましょう。

□学校の雰囲気・校風

自分が3年間通う学校です。その学校や生徒の様子等、自分に合っているかを見極めることは重要なポイントです。実際に見学して確認しましょう。

□設備や環境

自分が希望する学科やコースの設備で、満足のいく専門的な学習をすることができるか、という視点で見ることも大切です。

□昨年度との違い

今年から男女共学になっていたり、募集する学科やコース、人数、入試科目が変更していたりする場合があります。昨年のデータが使えないことがあるので確認しましょう。

□難易度

今年の合格基準点、昨年の倍率を加味して、現在の自分の学力と比較してみましょう。

□推薦と併願優遇の基準

3年生2学期の内申(成績)による基準を設定している学校がほとんどです。英検、漢検、数検などの検定や部活

動、生徒会、出欠席・遅刻早退状況での加点制度等も利用できる場合がありますので確認しておきましょう。

また推薦制度や優遇制度を利用する場合、学校によって基準がちがうので、確認する必要があります。

□入試のスケジュール

推薦・一般入試の願書の配布時期、提出期限、入試日程、合格発表、入学手続き日・入学金の納付日等。

※12/15より中学校と高校の間で入試相談が行われます。意思が固まっている人はもちろん、まだ決めかねている人も、推薦・併願優遇制度希望の方は、まずは第2回三者面談で必ず担任と相談してください。

□選考方法と出題傾向

入試科目(面接も含めて)、入試では実際にどのような問題が出題されるのか、説明会で出題傾向についての説明がない場合は積極的に質問に行きましょう。都立高校でも独自の問題を出題する学校があります。また説明会に参加すると過去問題集を配布している学校もあります。

□学費・費用

授業料のほか寄付金、修学旅行費用など入学後にかかる諸費用について確認しておきましょう。

※ 注意点

- 皆さんの大切な進路に関する説明会です。また、私立高校の場合、初年度の納入金が100万円を超える学校も珍しくありません。説明会にはできる限り親子で参加してください。
- 個別に相談できる場合も多いため、成績がわかる資料(通知表のコピー、模試の結果など)を持参するとよいでしょう。
- 説明会の参加により優遇措置が受けられる私立高校もあります。Webで申し込むことが多くなっていますが、会場受付で記名できる場合は、必ず氏名や学校名を書いてきましょう。
- 学校によっては、説明会に必要な持ち物もあります。確認をして、一中の標準服で参加しましょう。
- 第一志望の学校だけでなく、第二志望の学校をしっかりと選び、自分の目で見て、その学校の雰囲気確かめてください。第二志望の学校は、3年間通う学校になるかもしれません。第一志望の学校と同じくらい、納得のいく学校を選ぶことが大切です。

実際に受験する学校の選び方

1 行きたい学校はどんな学校か、具体的に考える。

通学時間	交通手段	公立 私立	共学 男子校 女子高	大学付属	校風	卒業後の進路	全日制 定時制 通信制
------	------	----------	------------------	------	----	--------	-------------------

2 1で考えたことにあてはまる学校を探す。

3 2で具体的な学校名が挙がったら、見学や学校説明会に参加し、検討する。

4 何校か考えておく。入試当日に体調不良で力が発揮できないこともあるので、十分に合格できそうな学校を見つけておくことが大切です。

5 どの学校を受けるのか、試験日はいつか、入試形態はどうするのか、いくつかのパターンを考えておく。

※①第一志望 ②第二志望

①都立一般のみ	①私立推薦
①都立推薦 ②都立一般	①私立第一志望 ②私立併願優遇
①都立推薦 ②都立一般 ③私立併願優遇	①私立一般 ②私立併願優遇
①都立一般 ②私立併願優遇	①私立一般 ②都立一般
①都立一般 ②私立一般 ③私立併願優遇	①私立一般 ②都立一般 ③私立併願優遇

2学期進路関係の予定

月	日	曜	主な予定
10	7	水	●第3回 進路希望調査配付(提出期限11月29日(木))
	28	水	●第2回 進路説明会
11	4	水	●三者面談(～11月11日(水)) *私立高校の推薦受験や併願優遇制度利用の意向、現状の把握、進路に対する考えなどを 中心に話し合います。面談までに志望校を絞り込んでおいてください。面談後、2学期の仮 内申(暫定)が出たときに、すぐに決定できるようにしておきます。
	12	木	●2学期期末考査(～16日(月))
	22	日	●ESAT-J 受験日(11月20日(金)⑥ ESAT-J 事前指導)
	26	木	●判定会議(27日 判定会議予備日)
	30	月	●調査書作成願 配布(予定)
			●第4回<最終>進路希望調査配付 ●仮内申通知(予定) ●諸活動の記録 記入用紙配布 ●受験面接練習開始(11月～)
12	1	火	●第3回<最終>三者面談(～8日(火)) *受験(検)校や受験方法などを確認します。面談までにご家庭で相談し、最終決定をしてお きます。 *推薦願等を配布します。(面談翌日提出)
	2	水	●受験写真撮影(希望者のみ)
	13	日	●ESAT-J 予備日
	15	月	●私立高校入試相談(～17日頃) *推薦入試や併願優遇に関して、教員が高校と打診、相談します。多くの学校が相談用紙を 12月15日着の郵送での受付になっています。
			●集団討論練習希望者募集
			*私立高校受験希望者は、すみやかに高校の願書や募集要項を入手し、調査書に指定の用紙があるかどうか を確認してください。 *私立高校指定の調査書用紙及び調査書作成願は、要項と一緒に12月22日(火)までに担任に提出してくだ さい。 *都立高校については、出願に必要な書類は中学校に送られてきます。ただし、学校独自の書類が必要な高校 もあるので、必ず各自で確認をしてください。
	18	金	都立高校出願サイトの登録開始 *推薦・国際バカロレアIBコースは1月18日(月)午後5時まで *第一次・分割前期、海外帰国生徒、在京外国人生徒(4月入学)、通信課程前期選抜は2月 4日(木)午後5時まで
冬休み	*都立推薦に基づく選抜の出願準備を行います。受験する高校が決定次第、願書の作成や受験料の納付をし ましょう。都立推薦受験者は、自己PRカードの清書をして1月8日(金)に担任に提出してください。 *受験校の過去の入試問題などを利用して、入試本番に向けたトレーニングを繰り返し行い、学習の総まとめを してください。 *体調管理も実力のうち。生活リズムが崩れないよう、健康管理に気を配りましょう。		
1	8	金	*都立推薦・国際バカロレアIBコース出願書類提出期間開始(18日終了)
	<u>必要書類の提出(厳守)</u>		
	8	金	*都立推薦出願サイト登録 <u>第一中学校の締切</u> *自己PRカード清書締め切り(面接がある人)
	18	月	*都立推薦出願サイト出願申請完了(午後5時まで) 出願書類提出期間終了

第2回 三者面談に向けて

2学期の予定欄にも書きましたが、私立高校の推薦受験や併願優遇制度利用の意向、現状の把握、進路に対する考えなどを中心に話し合います。推薦や優遇制度の基準は「2学期末の内申」(3年生の4月～12月の学習評価)を用いる高校がほとんどですが、11月の面談時はまだ「2学期末の内申」は出ていません。推薦や併願優遇制度を希望している人は、1学期の成績だけで決めるのではなく、2学期の成績が「1学期と変わらなかった」「1学期より〇〇あがった」「1学期より〇〇下がった」ことも想定し、「内申が1上がったら」どの学校を受験するか、逆に「1下がったら」どの学校を受験するかなど、いくつかのパターンを考えて、面談までに志望校を絞り込み、面談の際にそれぞれについての考えを担当の先生に伝えてください。面談後、2学期の仮内申(暫定)が出たときに、すぐに決定できるようにしておいてください。

①「2学期末の内申」が1学期末よりも上がった場合	(志望校:) (利用する制度:)
②「2学期末の内申」が1学期末と変わらなかった場合	(志望校:) (利用する制度:)
③「2学期末の内申」が1学期末よりも下がった場合	(志望校:) (利用する制度:)

また、三者面談では、志望校について以下のことを聞く場合がありますので、調べたことや説明会で聞いてきたことをもとに、家族ともよく話し合い、志望校を絞っておいてください。

- ☐ 第一志望校について(学校名、国立・都立・私立、何科・何コース、推薦・一般フリー・第一志望優遇・併願優遇)
- ☐ 志望理由
- ☐ 説明会に参加・不参加・行く予定、個別相談を受けたか、受けた場合どのようなことを言われたか、中学校に伝えることは
- ☐ 通学時間と交通手段
- ☐ 推薦や優遇制度を利用したい場合基準を満たしているか、満たしていない場合は何をどうするか、加点ポイントがあるか

※今からご準備ください

推薦や優遇制度の基準となる「内申点」に、「英検」「漢検」などの検定資格や、部活動や習い事などの成績などが「加点」される学校があります。この場合、**検定合格証や賞状などの証明書類の提出**が求められることがあります。紛失した場合など、12月の面談では対応が間に合わないこともありますので、手元にあるかどうか、今からご確認ください。紛失の場合は再発行の手続きをして、提出期限に間に合うように準備をお願いします。

奨学金等のお知らせ

今、学校に来ている奨学金は、以下の通りです。QRコードを読み取ると、それぞれのホームページに移動できます。

あしなが育英会 高校奨学生予約募集



受験生チャレンジ支援貸付事業



都立高校入学者選抜について

都立高校の入試には、推薦に基づく 都立高校の入試の仕組み 入試(推薦入試)、学力検査に基づく入試(第一次募集・第二次募集・分割 募集)、通信制課程の入試(前期選抜・後期選抜)があります。なお、エンカレッジスクールやチャレンジスクールのように学力検査によらない入試を行う学校もあります。



詳細は、「令和9年度 東京都立高等学校に入学を希望する皆さんへ」(7月配布済み)、「令和9年度 東京都立高等学校募集案内」(11月配布予定)、東京都教育委員会のホームページより「東京都立高等学校入学者選抜実施要項」でも確認できます。

東京都教育委員会の公式サイトの URL <https://www.kyoiku.metro.tokyo.lg.jp/information/press/2026/09/2026091703>

右上のQRコードを読み取ると、東京都教育委員会の公式サイトに移動します。

Ⅰ 令和9年度入学者選抜における主な変更点

(1) 入学者選抜における調査書の取扱い

学力検査の得点と調査書点の比率について7:3と10:0の両方の方法で算出しどちらか高い方を本人の得点として選抜する選抜方法を、新たに2校(北園高校と武蔵野北高校)の高等学校全日制課程普通科で実施する。

(2) 国際高等学校のバカロレアコースの入学者選抜

都立国際高校のバカロレアコースで9月入学生徒の選抜を廃止し、4月入学生徒の選抜のみを実施する。

(3) 推薦枠の変更

	高校名	推薦枠
拡大	足立新田, 篠崎, 片倉「普」, 府中西, 府中東, 小平西, 日野, 東大和, 東大和南	20→22%
	東久留米総合	30→32%
	園芸	30→35%
縮小	農業「農業科」	40→30%

(4) 一般推薦

戸山(小論文の出題表記)・町田総合(パーソナルプレゼンテーション取りやめ)の検査内容と、三田・松原・板橋・篠崎の配点が変わります。

(5) 文化スポーツ等特別推薦

9校11種目で新規実施、9種目でとりやめ、39種目で募集人員が変わるほか、11の学校・種目で配点が変わります。(R8年度91校、R9年度90校で実施)

(6) 第一次募集の検査の変更

片倉「造形美術」(実技配点 一次 1000→700 二次 1000→600)

(7) 二次募集の検査の変更

小松川(面接取りやめ) 片倉「普」(面接取りやめ) 府中東(面接取りやめ)

片倉「造形美術」(実技 1000→600) 野津田「福祉」(面接 個人 300→200)

※詳細は、東京都教育委員会のホームページ「東京都立高等学校入学者選抜実施要項・同細目」で確認をしておきましょう。

〈参考〉令和8年度入学者選抜での変更点 ※令和9年度も継続して実施

(1) 全日制課程の分割募集廃止

定時制課程の高校(昼夜間定時制高校)では、多様な生徒の受検機会を確保する観点から、これまでどおり継続して分割募集を実施。

(2) 通信制課程における前期日程・後期日程の実施

令和8年度入学者選抜では前期選抜(2月)と後期選抜(4月)の二回に分けて実施。前期選抜は、第一次募集と同じ時期に、後期選抜はこれまでと同様に4月上旬に実施。

(3) 入学者選抜における調査書の扱い

困難を抱える生徒の多様なニーズにこたえることができるよう、学力検査の得点と調査書点の比率について7:3と10:0の両方の方法で算出し、どちらか高い方を本人の得点として選抜する新たな選抜方法を、深沢高等学校で実施。

(4) 定時制課程における選抜に係る志願変更

これまでは第二次募集にのみ志願変更(一度提出した願書を別の志望校に出し直すこと)の機会を設けてきたが、志願変更の実績がほとんどないことから、志願変更は行わないこととなった。

(5) 自己PRカードの取り扱い

令和8年度入学者選抜からは、面接を実施する学校(推薦を含む)を受検する場合のみ提出。

2 令和9年度東京都立高等学校等の第一学年生徒の募集人員等について

〈全日制〉

●募集概要

区分	令和9年度	令和8年度	増減	備考
学校数	167校	167校	0校	募集停止 0校 0学級 募集開始 0校 0学級
学級数	1,011学級	1,029学級	△18学級	学級増 0校 0学級 学級減 17校 △18学級
募集人員	39,195人	40,240人	△1,045人	

●募集学級の増減

ア 学級減(17校 △18学級) イ 学級増 なし

〈定時制課程〉

●募集学級及び募集人員の増減 なし

〈通信制課程〉

●募集学級及び募集人員の増減 なし

●前期選抜及び後期選抜の実施

通信制課程3校は、学力検査に基づく選抜の募集人員を分割し、前期選抜と後期選抜の2回に分けて募集しているが、前期選抜の割合を増加して募集を行う。

※詳細は、右のQRコードを読み取ると、令和9年度東京都立高等学校等の第一学年生徒の募集人員等についてのページに移動できます。



③ 主な日程（いずれも令和9年）

		入学願書受付期間 ※	検査実施日	合格発表日
推薦に基づく選抜		1月 8日（金）～18日（月）	1月26日（火）・27日（水）	2月 2日（火）
基 づ く 選 抜 学 力 検 査 に 基 づ く 選 抜	第 一 次 募 集	1月29日（金）～2月4日（木）	2月21日（日）	3月 1日（月）
	第 二 次 募 集 （インフルエンザ等 追検査）	3月 4日（木）	3月 9日（火）	3月12日（金）
	定時制第二次募集	3月25日（木）	3月26日（金）	3月29日（月）
海外帰国生徒対象 4月入学生徒の選抜		1月29日（金）～2月4日（木）	2月15日（月）	2月17日（水）
の 選 抜 生 徒 等 対 象 在 京 外 国 人	国際高等学校 以外の実施校	1月20日（水）・21日（木）	1月26日（火）	2月 2日（火）
	国際高等学校	1月29日（金）～2月4日（木）	2月15日（月）	2月17日（水）
通信制課程における選抜 （前期選抜）		1月29日（金）～2月4日（木）	2月22日（月）	3月 1日（月）

※ 推薦に基づく選抜、学力検査に基づく選抜（第一次募集）、海外帰国生徒対象4月入学生徒の選抜、国際高等学校における在京外国人生徒等対象4月入学生徒の選抜と国際バカロレアコースの選抜及び通信制課程における選抜（前期選抜）については、令和8年12月18日（金）からそれぞれの選抜の入学願書受付期間の最終日までに、必要事項をインターネット上の専用サイトに入力する。また、その他出願に要する書類については、それぞれの選抜の入学願書受付期間内に必着するよう都立高校に郵送する。

④ 選抜の種類

推薦に基づく選抜	1 一般推薦 2 特別推薦（文化・スポーツ等特別推薦） 3 特別推薦（理数）
学力検査に基づく選抜	1 第一次募集・分割前期募集 2 第二次募集・分割後期募集

⑤ 推薦に基づく選抜

推薦入試は、主に都立高校全日制課程で実施します。対象となるのは、以下の二つの条件を満たす生徒です。

- (1) 令和8年12月31日現在、都内在住で、都内の中学校に在学していて、入学後も引き続き都内に在住し、令和9年3月に都内の中学校を卒業する見込みの生徒
- (2) 志願する都立高校を第1志望とする生徒

ご家庭から一中への推薦に基づく選抜の書類提出の締め切りは、**令和9年1月8日（金）**とします。

(1) 推薦に基づく選抜の目的

1 一般推薦	基礎的な学力を前提に、思考力、判断力、表現力等の課題を解決するための力や、自分の考えを相手に的確に伝えるとき、相手の考えを的確に捉え人間関係を構築するためのコミュニケーション能力など、これからの社会にあって生徒たちに必要となる力を評価し、選抜する。
2 特別推薦 (文化・スポーツ等特別推薦)	各都立高校の個性化・特色化を推進するため、卓越した能力をもつ生徒の力を評価し、選抜する。
3 特別推薦(理数)	科学技術の根底にある理数系分野の素養を前提に、探究の過程を通して、課題を解決する力や、他者の考えから自分の考えを深めるとともに、新しい価値を生み出す創造性など、変化し続ける社会にあって生徒たちに必要となる力を評価し、選抜する。

(2) 日程(一般推薦、特別推薦及び特別推薦(理数))

事項	日 時
出願	インターネットを活用した出願(以下「インターネット出願」という。)を行い、かつその他出願に要する書類については、下記書類提出期間必着で、各都立高校に簡易書留郵便等の追跡可能かつ対面で受け渡される方法により郵送したものを受け付ける。 〔入力期間〕令和8年12月18日(金)から令和9年1月18日(月)午後5時まで ※入力期間とは、インターネット出願において、インターネット上の出願サイト(以下「出願サイト」という。)に志願者情報等を入力することができる期間のことである。 以下、本実施要綱において同じ。 〔書類提出期間〕令和9年1月8日(金)から1月18日(月)まで(必着) ※書類提出期間とは、出願サイトへの入力に加え、出願に要する書類を志願先の都立高校へ提出する期間のことである。
検査	令和9年1月26日(火) 1月27日(水)
合格者の発表	令和9年2月 2日(火) 午前8時30分(合否照会サイト上で発表) 午前9時30分(校内掲示)
合格者の入学手続	令和9年2月 2日(火) 午前9時30分 ～ 午後3時30分 2月 3日(水) 午前9時 ～ 正午

※ 推薦に基づく選抜、学力検査に基づく選抜(第一次募集)、海外帰国生徒対象4月入学生徒の選抜、国際高等学校における在京外国人生徒等対象4月入学生徒の選抜と国際バカロレアコースの選抜及び通信制課程における選抜(前期選抜)については、令和8年12月18日(金)からそれぞれの選抜の入学願書受付期間の最終日までに、必要事項をインターネット上の専用サイトに入力する。また、その他出願に要する書類については、それぞれの選抜の入学願書受付期間内に必着するよう都立高校に郵送する。

(3) 一般推薦

I 応募資格

一般推薦に志願する意思があり、在学している中学校長の推薦を受けた生徒が応募できます。

II 出願方法

- 志願者は、1校1コース又は1科(1分野)に限り出願します。志願変更はできません。
- 志望する同一の都立高校内にある同一の学科内に2科(2分野)以上ある場合(芸術に関する学科を除く。)は、第2志望として他の1科(1分野)に限り指定することができます。
- ただし、同一の都立高校内に普通科とコース、農業科と家庭科等、複数の学科がある場合は、それぞれ別の学科として扱うため、一方を第1志望とした場合、他方を第2志望に指定することはできません。

《出願方法における志願指定の注意》

- (例1) 第1志望を八王子桑志高校の産業科のデザイン分野とした場合、同じ学科のクラフト分野を第2志望に指定することができる。
- (例2) 第1志望を松が谷高校の外国語コースとした場合、普通科を第2志望に指定することはできない。
- (例3) 第1志望を瑞穂農芸高校の農業に関する学科の園芸科学科とした場合、同じ学科の畜産科学科を第2志望に指定することはできるが、家庭に関する学科の生活デザイン科を第2志望に指定することはできない。
- (例4) 第1志望を工芸高校の工業に関する学科のマシンクラフト科とした場合、同じ学科のアートクラフト科を第2志望に指定することができる。

III 出願書類

ア 一般推薦書	中学校で作成します。
イ 入学願書	インターネット出願では、志願者が出願サイトへ志願者情報を入力します。 (令和8年12月18日(金)～令和9年1月18日(月)午後5時まで)
ウ 調査書	中学校で作成します。
エ 自己PRカード	中学校より様式を配布しますので志願者が作成して一中に提出してください。電子ファイルで作成した場合は、各自で印刷したものを中学校に提出してください。 (令和9年1月8日(金)まで)
オ 入学考査料 全日制2,200円	出願サイト上での決済又は所定の納付書による納付とします。納付書による場合は、領収証書の画像を出願サイトにアップロードしてください。 (令和8年12月18日(月)～令和9年1月18日(金)午後5時まで)

IV 検査内容

ア 個人面接	全員に個人面接を実施します。
イ 集団討論	必要と判断した都立高校が実施することができます。
ウ 小論文又は作文、 実技検査、その他 の検査	いずれか一つ以上の検査を実施する。一般推薦において、第1志望及び第2志望とする科(分野)で実施する小論文又は作文等の検査の課題が異なる場合は、それぞれの課題を課すものとします。

V 選考方法

- ① 調査書、個人面接(集団討論を実施する学校は集団討論を含む)、小論文又は作文等の検査を総合した成績(以下「総合成績」という)、入学願書による志望及び都立高校長が必要とする資料(自己PRカードを含む)により行います。
- ② すべての高校で、調査書における各教科の観点別学習状況のABC評価(全27観点)又は5段階評定(9教科)のどちらか一方を調査書点として点数化します。ただし、エンカレッジスクールは観点別学習状況の評価を用います。評定を用いる場合、特定の教科の評定に比重をかけることは行いません。
- ③ 個人面接(集団討論を実施する学校は集団討論を含む)、小論文又は作文等の検査の結果については、各都立高校が基準を定めてそれぞれ点数化します。
- ④ 自己PRカードは点数化しません。なお、個人面接に当たっては、自己PRカードを面接資料として活用します。

調査書点	集団討論・個人面接点	小論文又は作文点	実技検査点	その他学校が設定する検査の点数
総 合 成 績				

注意1 推薦入試で合格した場合、必ずその高校に入学しなければいけません。

注意2 推薦入試で不合格であっても、第一次募集に再度出願することができます。

(4) 文化・スポーツ等特別推薦

I 応募資格

文化・スポーツ等特別推薦に志願する意思があり、在学している中学校長の推薦を受けた生徒が応募できます。文化・スポーツ等特別推薦は、実施する学校と実施しない学校があります。また、募集人員は、一般推薦の募集人員に含まれます。

II 出願方法

志願者は、特別推薦を実施する都立高校の種目等のうちから1種目を指定し、1コース又は1科(1分野)に限り出願します。志願変更はできません。また、当該都立高校の一般推薦にも出願することができる。この場合の出願方法は、一般推薦における出願方法によります。

III 出願書類

ア 文化・スポーツ等 特別推薦書	各自で東京都教育委員会ホームページからダウンロードして担任の先生に提出してください。 ※推薦書は中学校で作成しますので様式のみ提出してください。 ※大会等での実績は推薦書には記入しませんので、志願者の活動実績等を証明する書類は担任に提出する必要はありません。
イ 入学願書	インターネット出願では、志願者が出願サイトへ志願者情報を入力します。 なお、 <u>一般推薦を同時に志願する場合は、特別推薦の内容に加えて、出願サイトに必要事項を入力します。</u> (令和8年12月18日(金)～令和9年1月18日(月)午後5時まで)
ウ 調査書	中学校で作成します。
エ 自己PRカード	中学校より様式を配布しますので志願者が作成して一中に提出してください。電子ファイルで作成した場合は、各自で印刷したものを一中に提出してください。一般推薦を同時に志願する場合も、提出するのは1部のみです。(令和9年1月8日(金)まで)
オ 入学考査料 2,200円	出願サイト上での決済又は所定の納付書による納付とします。納付書による場合は、領収証書の画像を出願サイトにアップロードしてください。(令和8年12月18日(金)～令和9年1月18日(月)午後5時まで)なお、 <u>一般推薦を同時に志願する場合は、一般推薦・特別推薦それぞれについて入学考査料が必要です。(2,200円×2)</u>

IV 検査内容

ア 特別推薦の志願者全員に個人面接又は集団面接及び実技検査を実施し、その他の検査の内容については各都立高校が定めます。

イ 特別推薦と同時に一般推薦を志願する場合は、一般推薦で実施する個人面接及び小論文又は作文等の検査も受検することになります。

V 選考方法

- ① 選考は、総合成績で合格者を決定します。
- ② 個人面接又は 集団面接及び実技検査のほか、小論文又は作文等の検査を適宜組み合わせ、選考資料として用います。なお、個人面接や集団面接に当たっては、自己PRカードを面接資料として活用します。
- ③ 調査書における各教科の観点別学習状況の評価又は評定の扱いは、一般推薦の扱いと同様に各都立高校が定めます。

注意1 推薦入試で合格した場合、必ずその高校に入学しなければいけません。

注意2 推薦入試で不合格であっても、第一次募集に再度出願することができます。

(5) 特別推薦(理数)

I 応募資格

理数等特別推薦に志願する意思があり、在学している中学校長の推薦を受けた生徒が応募できます。

II 出願方法

志願者は、1校1科に限り出願する。志願変更はできません。また、他の推薦に基づく選抜に出願することはできません。

※特別推薦(理数)の希望者は一般推薦の受検ができません。一般推薦を希望する場合も同様に特別推薦(理数)の受検はできません。

III 出願書類(当該都立高校所定の様式)

ア 理数等特別推薦書 (当該都立高校 所定の様式)	各自で東京都教育委員会ホームページからダウンロードして担任の先生に提出してください。 ※推薦書は中学校で作成しますので様式のみ提出してください。
イ 入学願書	インターネット出願では、志願者が出願サイトへ志願者情報を入力します。 (令和8年12月18日(金)～令和9年1月18日(月)午後5時まで)
ウ 調査書	中学校で作成します。
エ 自己PRカード	中学校より様式を配布しますので志願者が作成して一中に提出してください。電子ファイルで作成した場合は、各自で印刷したものを一中に提出してください。 (令和9年1月8日(金)まで)
オ 科学分野等の研究 に関するレポート (A4判2枚以内様式任意)	各自で作成してください。
カ 入学考査料 2,200円	出願サイト上での決済又は所定の納付書による納付となります。納付書による場合は、納付書裏面に記載の納付場所で納付した領収証書の画像を出願サイトにアップロードしてください。納付書は、中学校で配布します。インターネット出願ができずにやむを得ず所定の入学願書(紙書類)を用いる場合は、領収証書を裏面に貼り付けて高等学校に提出します。

IV 検査内容

科学分野等の研究に関するレポートについての口頭試問、個人面接及び小論文の検査を実施します。

V 選考方法

- ① 選考は、総合成績で合格者を決定します。

- ② 個人面接、科学分野等の研究に関するレポートについての口頭試問及び小論文の検査を組み合わせ、選考資料として用います。なお、個人面接に当たっては、自己PRカードを面接資料として活用します。
- ③ 調査書における各教科の観点別学習状況の評価又は評定の扱いは、一般推薦の扱いと同様に各都立高校が定めます。

注意1 推薦入試で合格した場合、必ずその高校に入学しなければいけません。

注意2 推薦入試で不合格であっても、第一次募集に再度出願することができます。

(6) 推薦入試(一般推薦、文化・スポーツ等特別推薦、理数等特別推薦)における調査書点について

推薦入試(一般推薦、文化・スポーツ等特別推薦、理数等特別推薦)では、観点別学習状況の評価(全27観点)又は評定(9教科)のうち、どちらか一方を調査書点として点数化します。以下の「各教科の観点別学習状況の評価及び評定」の例で調査書点の点数化について説明します。

教科	国語			社会			数学			理科			音楽			美術			保健体育			技術・家庭			外国語(英語)		
観点別学習状況	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	I	II	III	I	II	III	I	II	III	I	II	III	I	II	III	I	II	III	I	II	III	I	II	III	I	II	III
	B	A	A	A	A	A	B	C	B	B	B	B	B	A	B	B	A	B	A	A	A	A	B	B	B	A	A
評価 評定	4			5			2			3			3			3			5			3			5		

① 評定を調査書点として点数化する学校(都立A高校)の場合

- 9教科の評定を点数化します。各教科に傾斜配点を設けません。

【都立A高校】調査書点の満点が450点の場合

➡調査書点は、 $450点 \times 33点 \div 45点 = 330点$ となります。

・各学校が調査書点を点数化するとき、観点別学習状況の評価と評定のうち、どちらを活用するかと、各学校が定める調査書点の満点が何点になるかについては、10月下旬に発行予定の「令和9年度東京都立高等学校募集案内」に明示します。

「都立A高校」を受検する場合の調査書点
330点

各教科の目標に照らして、その実現状況を観点ごとに評価したもの
A:「十分満足できる」状況と判断されるもの
B:「おおむね満足できる」状況と判断されるもの
C:「努力を要する」状況と判断されるもの

② 各学校の求める生徒の姿に応じて、観点別学習状況の評価を調査書点として点数化する学校の場合

- 9教科(国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、技術・家庭、外国語(英語))の全27観点の評価(A・B・C)を点数化します。
- 各教科の特定の観点を重視する学校(都立B高校)や、特定の教科を重視する学校(都立C高校)があります。

【都立B高校】観点別学習状況のうち、「主体的に学習に取り組む態度」を重視する学校
調査書点の満点が180点

教 科 名	国語			社会			数学			理科			音楽			美 術			保健体育			技術・家庭			外国語(英語)			評価の得点	調査書点		
評価の観点	I	II	III	I	II	III	I	II	III	I	II	III	I	II	III	I	II	III	I	II	III	I	II	III	I	II	III	の満点	の満点		
都立B高校 の配点	A	5	5	10	5	5	10	5	5	10	5	5	10	5	5	10	5	5	10	5	5	10	5	5	10	5	5	10	180	180	
	B	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3				
	C	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1				

〈重視する観点〉A:10点 B:3点 C:1点 〈その他の観点〉A:5点 B:3点 C:1点

「A」の配点を合計した「評価の得点の満点」180点を「調査書点の満点」180点に比例換算します。この場合、観点別学習状況の評価の得点は、網掛け部分を合計した127点となるので、調査書点は、 $180点 \times 127点 \div 180点 = 127点$ となります。

「都立B高校」を受検する場合の調査書点
127点

【 都立C高校 】 数学、理科、美術、技術・家庭の教科を重視する学校
調査書点の満点が390点

教 科 名	国語			社会			数学			理科			音楽			美 術			保健体育			技術・家庭			外国語(英語)			評価の得点 の満点	調査書点 の満点	
評価の観点	I	II	III	I	II	III	I	II	III	I	II	III	I	II	III	I	II	III	I	II	III	I	II	III	I	II	III			
都立C高校 の配点	A	5	5	5	5	5	5	10	10	10	10	10	10	5	5	5	10	10	10	5	5	5	10	10	10	5	5	5	195	390
	B	3	3	3	3	3	3	7	7	7	7	7	3	3	3	7	7	7	3	3	3	7	7	7	3	3	3			
	C	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1		

「A」の配点を合計した「評価の得点の満点」195点を「調査書点の満点」390点に比例換算します。この場合、観点別学習状況の評価の得点は、網掛け部分を合計した153点となるので、調査書点は、 $390\text{点} \times 153\text{点} \div 195\text{点} = 306\text{点}$ となります。

「都立C高校」を受検する場合の
調査書点
306点

◇調査書点の算出方法(評定を用いる場合)

$$\text{各受検者の調査書点} = \frac{\text{評定の得点}}{\text{評定の満点(45点)}} \times \text{調査書の満点}$$

◇調査書点の算出方法(観点別学習状況の評価を用いる場合)

$$\text{各受検者の調査書点} = \frac{\text{観点別学習状況の評価の得点}}{\text{観点別学習状況の評価の満点}} \times \text{調査書の満点}$$

6 学力検査に基づく選抜

都立高校では、原則として全校が第一次募集を行います。第一次募集の結果、入学手続人員が募集人員に達しない学校は、第二次募集を行います。ただし、一橋高校、八王子拓真高校、浅草高校、荻窪高校及び砂川高校においては、分割募集といい、あらかじめ募集人員を分割し、第一次募集期間における募集(分割前期募集)と第二次募集期間における募集(分割後期募集)の2回に分けて募集を行います。

学力検査に基づく選抜のご家庭からの書類提出の締め切りは、令和9年2月2日(火)とします。

(1) 第一次募集(全日制及び定時制)

事項		日 時
出願		インターネット出願を行い、かつその他出願に要する書類については、下記書類 提出期間必着で、各都立高校に簡易書留郵便等により郵送したものを受け付ける。 〔入力期間〕令和8年12月18日(金)から令和9年2月 4日(木)午後5時まで 〔書類提出期間〕令和9年 1月29日(金)から2月 4日(木)まで(必着)
志願変更 (注1)	入学願書取下げ	令和9年2月10日(水) 午前9時 ~ 午後3時
	入学願書再提出	令和9年2月12日(金) 午前9時 ~ 正午
学力検査及び面談		令和9年2月21日(日) 集合 午前8時30分
面接及び実技検査等		令和9年2月21日(日)以後、各都立高校が定める日時
合格者の発表		令和9年3月 1日(月) (全日制)午前8時30分(合否照会サイト上で発表) 午前9時30分(校内掲示) (定時制)午前8時30分(合否照会サイト上で発表) 午後4時(校内掲示)
合格者の入学手続		令和9年3月 1日(月) (全日制)午前9時30分 ~ 午後3時30分 (定時制)午後4時 ~ 午後8時 3月 2日(火) 3月 2日(火) (全日制)午前9時 ~ 正午 (定時制)午後4時 ~ 午後8時

注意 『推薦に基づく選抜』の合格発表日も同じ令和9年2月2日(火)です。推薦で合格できなかった場合に第一次募集を受検する人は、並行して準備をしておきましょう。

<集合時刻及び時間割(全日制及び定時制)>

ただし、国際高校及びエンカレッジスクールとして指定された都立高校の時間割は、各都立高校が定めます。

	開始時間 ～ 終了時間	時 間	検査教科
集 合	午前 8時30分		
第 1 時 限	午前 9時00分 ～ 午前 9時50分	50分	国 語
第 2 時 限	午前 10時10分 ～ 午前 11時00分	50分	数 学
第 3 時 限	午前 11時20分 ～ 午後 0時10分	50分	英 語
第 4 時 限	午後 1時10分 ～ 午後 2時00分	50分	社 会
第 5 時 限	午後 2時20分 ～ 午後 3時10分	50分	理 科

(注)英語学力検査の最初の10分間に、リスニングテストを実施する。

(注)学力検査問題を自校で作成する定時制の検査開始・終了時刻及びそれらの都立高校の定時制成人受検者特別措置の検査開始・終了時刻は、当該都立高校で定めることができる。ただし、検査は午前11時まで開始する。

I 応募資格

≪全日制≫

- 令和9年3月に中学校を卒業見込みの者又は、中学校を既に卒業した者
- 保護者と同居している者で都内に住所を有し、入学後も引き続き都内から通学することが確実な者

≪定時制≫

- 都内に住所又は勤務先を有し、入学後も引き続き都内に住所又は、勤務先を有することが確実な者
- 入学日までに都内に住所又は勤務先を有することが確実で、入学後も引き続き都内に住所又は勤務先を有することが確実な者

II 出願方法

- 志願者は、1校1コース又は1科(1分野)に限り出願します。
- 志望する同一の都立高校内にある同一の学科内に2科(2分野)以上ある場合(芸術に関する学科を除く)は、他の全ての科(分野)に志望の順位を付けて出願することができます。
- 同一の都立高校内に普通科とコース、農業科と家庭科等、複数の学科がある場合は、それぞれ別の学科として扱うため、一方を第1志望とした場合、他方を第2志望に指定することはできません。ただし、立川高校の理数科を第1志望とする者は同校の普通科を、科学技術高校の理数科を第1志望とする者は同校の科学技術科を、それぞれ第2志望に指定することができます。

III 出願書類

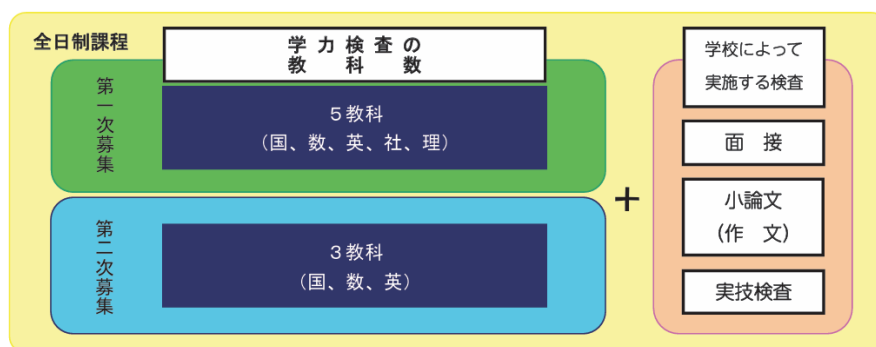
ア 入学願書	インターネット出願では、志願者が出願サイトへ志願者情報を入力します。 (令和8年12月18日(金)から令和9年2月4日(木)午後5時まで)
イ 調査書	中学校で作成します。
ウ 入学考査料 全日制2,200円 定時制950円	出願サイト上での決済又は所定の納付書による納付となります。納付書による場合は、所定の納付書により、納付書裏面に記載の納付場所で納付した領収証書の画像を出願サイトにアップロードしてください。納付書は、中学校で配布します。インターネット出願ができずにやむを得ず所定の入学願書(紙書類)を用いる場合は、領収証書を裏面に貼り付けて高等学校に提出します。

エ 自己PRカード	全日制、定時制ともに面接を実施する都立高校(以下「面接実施校」という。)の志願者のみ出願の際に提出します。中学校より様式を配布しますので、志願者が作成して中学校に提出してください。電子ファイルで作成した場合は、各自で印刷したものを中学校に提出してください。(※令和9年2月2日(火)まで)
オ スピーキングテスト 個人レポート	1月下旬に中学校に届く予定です。スピーキングテストを受検した者のみ、都立高校提出用の原本を提出します。 (全日制)英語学力検査を実施しない学校には提出する必要はありません。 (定時制)英語学力検査を実施しない学校及びリスニングテストを実施しない学校には提出する必要はありません。

IV 検査教科等

- ① 全日制課程は、国語、数学、外国語(英語)、社会及び理科の5教科です。ただし、芸術及び体育に関する学科については、学科に関する能力、適性等をみるため実技検査を行うことから、国語、数学及び外国語(英語)の3教科です。なお、エンカレッジスクールは、学力検査を実施しません。

また、第二次募集では、原則として、国語、数学、英語の3教科を実施します。なお、学校によっては、学力検査に加え、面接、小論文又は作文、実技検査を実施する場合があります。



- ② 定時制課程は、第一次募集・分割前期募集では、国語、数学、外国語(英語)、社会及び理科の5教科のうち、各都立高校が定めた3～5教科の検査を実施します。また、面接を実施します。

また、分割後期募集・第二次募集では、国語、数学、英語の3教科を実施します。第一次募集・分割前期募集、分割後期募集・第二次募集のどちらにおいても、面接を必ず実施します。なお、学校によっては、学力検査と面接に加え、小論文又は作文、実技検査を実施する場合があります。その他の検査の実施内容は、各都立高校が定めます。



※ 各教科の満点は100点です。特定の教科の配点に比重をかける(以下「傾斜配点」という。)都立高校もあります。

※ 検査教科等のうち、1教科(面接及び実技検査等を含む)でも受検しなかった場合は、受検を放棄したものとしなします。

※ 面接及び実技検査等を行う科(分野)を第2志望以下の志望順位とした場合は、その科(分野)で実施する面接及び実技検査等の検査も受検することになります。

V 令和9年度第一次募集における学力検査問題を自校で作成する高校

東京都共通の5教科試験ではなく、「国語、数学、英語」の1～3教科で、独自の試験問題を作成する高校があります。進学指導に特に重点がおかれている高校で多く実施しています。今年度も、下記の高校で実施します。

【全日制】

高 校 名	実 施 教 科
日比谷 戸山 青山 西 八王子東 立川 国立 新宿 墨田川 国分寺	自校で作成した学力検査問題3教科(国語、数学、英語)及び都立高校 共通問題2教科(社会、理科)で行う。
国際	自校で作成した学力検査問題1教科(英語)及び都立高校共通問題4教 科(国語、数学、社会、理科)で行う。

【定時制】

高 校 名	実 施 教 科
農産	自校で作成した学力検査問題3教科(国語、数学、英語)を、各25分で行う。
八王子拓真(一部枠)	自校で作成した学力検査問題3教科(国語、数学、英語)を、総合して50分で行う。

※ 通信制については、各学校が 国語、数学、英語の3教科を総合した検査問題を作成し、実施します。

VI 選考

(1) 選考方法

調査書、学力検査(面接、小論文又は作文及び実技検査を実施する都立高校にあってはそれらを含む。)及び点数化したスピーキングテスト結果を総合した成績(総合成績)、入学願書による志望及び都立高校長が必要とする資料により行います。

- ① 点数化したスピーキングテストの結果は、原則、英語の学力検査を実施する都立高校で選考に用います。
- ② 面接実施校では、自己PRカードを面接資料として活用しますが、点数化はしません。
- ③ 面接、小論文又は作文及び実技検査の結果については、各都立高校が適切に基準を定めて、それぞれ点数化します。

※ 面接、小論文又は作文、実技検査は一部の高校やコースで行います。

※ 面接及び実技検査等を行う科(分野)を第2志望以下の志望順位とした場合は、その科(分野)で実施する面接及び実技検査等の検査も受検することになります。

(2) 学力検査に基づく入試(第一次募集・第二次募集・分割募集)における調査書点(内申点)について

- ① 学力検査に基づく入試では、評定を調査書点として点数化します。
- ② 調査書点は、次の表のとおり、学力検査を実施する教科の評定を1倍、学力検査を実施しない教科の評定を2倍して、算出します。5教科受検の場合は、合計65点満点、3教科受検の場合は、合計75点満点で算出します。なお、エンカレッジスクールとして指定された都立高校においては、各教科の観点別学習状況の評価を用いて調査書点を算出します。

学力検査の教科	1倍にする教科	2倍にする教科	評定の満点
5教科(国・数・英・社・理)の場合	国・数・英・社・理	音・美・保体・技家	65点
3教科(国・数・英)の場合	国・数・英	社・理・音・美・保体・技家	75点

※「評定の満点」は、各教科の評定が全て「5」である場合

③ 各教科の評定が以下の場合の、調査書点の点数化について

国語	社会	数学	理科	音楽	美術	保健体育	技術・家庭	外国語 (英語)
5	4	3	3	3	4	5	3	5

【学力検査を5教科(国・数・英・社・理)、学力検査の得点と調査書点の比率を「7:3」で実施する学校の場合】

学力検査の得点と調査書点の合計点は1000点になるので、学力検査の得点と調査書点の比率が「7:3」の場合、調査書点の満点は300点となります。

- ・ 学力検査を実施する教科(国・数・英・社・理)の評定の合計は、 $5+3+5+4+3=20$ 点
- ・ 学力検査を実施しない教科(音・美・保体・技家)の評定の合計は、 $(3+4+5+3)\times 2=30$ 点

これらを足すと、 20 点 $+30$ 点 $=50$ 点 となります。

このため、調査書点は、 300 点 $\times 50$ 点 $\div 65$ 点(評定の満点) $=230$ 点 となります。

※小数点以下が発生した場合は切り捨て

【学力検査を3教科(国・数・英)、学力検査の得点と調査書点の比率を「6:4」で実施する学校の場合】

学力検査の得点と調査書点の合計点は1000点になるので、学力検査の得点と調査書点の比率が「6:4」の場合、調査書点の満点は400点となります。

- ・ 学力検査を実施する教科(国・数・英)の評定の合計は、 $5+3+5=13$ 点
- ・ 学力検査を実施しない教科(社・理・音・美・保体・技家)の評定の合計は、 $(4+3+3+4+5+3)\times 2=44$ 点

これらを足すと、 13 点 $+44$ 点 $=57$ 点 となります。

このため、この調査書点は、 400 点 $\times 57$ 点 $\div 75$ 点(評定の満点) $=304$ 点 となります。

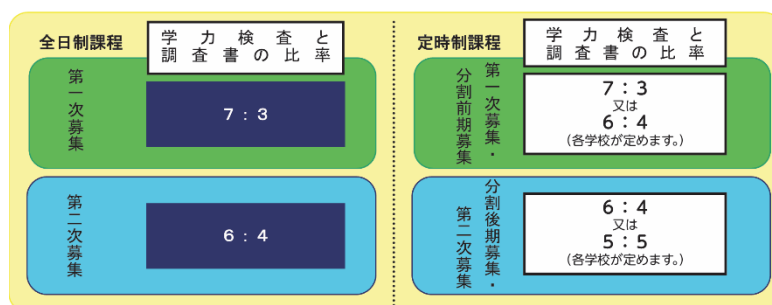
※小数点以下が発生した場合は切り捨て

【エンカレッジスクール】 各教科の観点別学習状況の評価を用いて調査書点を算出します。

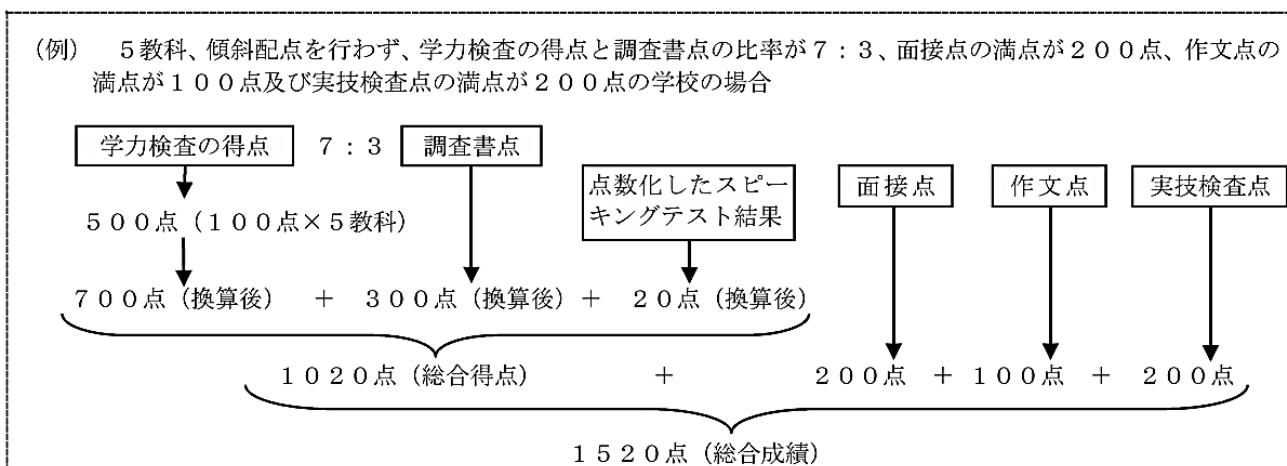
(3) 学力検査の得点と、調査書の各教科の学習の記録を点数化したもの(以下「調査書点」という)の比率

ア 全日制課程の第一次募集では、原則として、「7:3」、第二次募集では、原則として、「6:4」になります。体育科(駒場高校、野津田高校)及び芸術科(総合芸術高校)に関しては、実技検査を行い、学力検査が3教科となることから、どちらの募集も「6:4」となります。また、北園高校、武蔵野北高校、深沢高校の3校は、受検者ごとに「7:3」と「10:0」それぞれの比率に基づき、学力検査の得点と調査書点の合計を算出した上で、いずれか高い方を当該受検者の選考に用います。

イ 定時制課程の第一次募集・分割前期募集では、原則として、「7:3」又は「6:4」のどちらかを各学校が定めます。分割後期募集(昼夜間定時制普通科5校のみ)については、3教科受検(八王子拓真は自校作成)で、「6:4」または「5:5」となります。第二次募集は3教科受検で、原則として、「6:4」または「5:5」のどちらかを各学校が定めます。



なお、学力検査の得点と調査書点の合計は、1000点を満点とします。さらに、点数化したスピーキングテスト結果を加えた合計を「総合得点」といい、1020点が満点になります。



※ 都立高校では、スピーキングテストの結果を活用し、AからFまでの6段階で提出された評価を、次の表のとおり、20点満点に点数化します。

スピーキングテスト結果(評価)	A	B	C	D	E	F
都立高校で取り扱う点数	20点	16点	12点	8点	4点	0点

【 学力検査によらない入試 】

- チャレンジスクールでは、調査書を用いず、また、学力検査を行わず、志願申告書、個人面接及び作文により選考を行います(調査書及び自己PRカードの提出は不要です。)。学校所定の志願申告書は各高校で配布します。

○六本木 ○大江戸 ○世田谷泉 ○稔ヶ丘 ○桐ヶ丘 ○小台橋
○立川緑 ○八王子拓真(チャレンジ枠)

- エンカレッジスクールでは、学力検査を行わず、調査書、面接、小論文又は作文及び実技検査の各得点を総合した成績で選考を行います。

○蒲田 ○中野工科 ○練馬工科 ○足立東 ○東村山 ○秋留台

VII 志願変更について

出願後、1回に限り志願変更をすることができます。なお、同一の都立高校内に普通科とコース、農業科と家庭科等、複数の学科がある場合は、それぞれ別の学科として扱うため、一方に出願後、他方へ志願変更をすることができます。ただし、入学願書の返却を受けた都立高校の同一のコース及び科(分野)に再提出することはできません。また、同一の都立高校内にある同一学科内の科(分野)相互間の志望順位の変更もできません。全日制から定時制への志願変更もできません。

出願締切後に、東京都教育委員会のホームページや新聞に倍率等が掲載されます。志願変更を考慮しており、その可能性がある場合は、あらかじめ担任に伝えてください。

今年度の取り下げ日は、2月10日です。当日、私立高校の受験がある場合は、保護者に依頼することになります。保護者の方は、受検者との関係がわかる書類が必要になります。

<取り下げの日程と流れ>

入学願書取り下げ： 令和9年2月10日（水） 9:00～15:00

入学願書再提出： 令和9年2月12日（金） 9:00～12:00

①出願した高校に志願変更願を持参し、書類及び調査書を受け取る。

※なお、志願変更願を提出する際には、生徒手帳や身分証明書など、本人確認できるものを提示する。

ただし、保護者が志願変更願を提出する場合は、保護者の本人確認ができるもの及び志願者と保護者との関係を証明するもの（住民票の写しなど）を提示する。

②指定された期間内に出願サイトに必要事項を入力する。

③返却された出願に要する書類に必要な事項を記入する。

④志願者は、再提出先の都立高校の出願サイトへの出願情報の登録とともに、出願書類を窓口へ提出する。

⑤出願サイトで受検票の交付を受ける。

※再提出先によって、新たに書類の提出が必要になったり、考査料の差額の納付が必要になることがあります。

<志願変更ができる例>

（例1） 八潮高校の普通科に出願後、異なる学科である芝商業高校のビジネス科へ志願変更をすることができる。（その逆も可能）

（例2） 富士森高校の普通科に出願後、コースを置く片倉高校の造形美術コースへ志願変更をすることができる。（その逆も可能）

（例3） 国際高校の国際学科に出願後、コースを置く小平高校の外国語コースへ志願変更をすることができる。（その逆も可能）

（例4） コースを置く深川高校の外国語コースに出願後、同じ深川高校の普通科へ志願変更をすることができる。（その逆も可能）

（例5） 農業高校の農業に関する学科の食品化学科に出願後、同じ農業高校の家庭に関する学科の食物科へ志願変更をすることができる。（その逆も可能）

<志願変更ができない例>

（例1） 園芸高校の農業に関する学科の動物科を第1志望として出願後取り下げ、同じ園芸高校の農業に関する学科の食品科を第1志望として再提出することはできない。（同一校同一学科への再提出はできない。志望順位の変更もできない。）

（例2） エ芸高校の工業に関する学科のアートクラフト科を第1志望として出願後取り下げ、同じエ芸高校の工業に関する学科のマシンクラフト科を第1志望として再提出することはできない。（同一校同一学科への再提出はできない。志望順位の変更もできない。）

（例3） エンカレッジスクールの蒲田高校に出願後取り下げ、チャレンジスクールの六本木高校に再提出することはできない。（全日制からチャレンジスクールへの志願変更はできない。その逆は可能）

<都立高等学校入学願書再提出先一覧>

<第一次募集・分割前期募集>

再提出 取下げ	全 日 制	定 時 制 単 位 制		
		定 時 制		定時制単位制以外
		チャレンジスクール(注1) 八王子拓真高校(チャレンジ枠) 及びグループ A(注2)	グループ B (注3)	
全 日 制	○	×	×	×
チャレンジスクール(注1) 八王子拓真高校(チャレンジ枠) 及びグループ A(注2)	○	○	×	×
グループ B (注3)	×	×	×	×
定時制単位制以外	×	×	×	×

<分割後期募集・全日制第二次募集・チャレンジスクール及び八王子拓真高校(チャレンジ枠)第二次募集>

再提出 取下げ	全 日 制 (注4)	定時制単位制
		チャレンジスクール (注1) 八王子拓真高校 (チャレンジ枠) 及びグループ A(注2)
全 日 制	○	×
単 位 時 制 チャレンジスクール(注1) 八王子拓真高校 (チャレンジ枠) 及びグループ A(注2)	○	○

(注1)
チャレンジスクールとは、六本木高校、大江戸高校、世田谷泉高校、穂ヶ丘高校、桐ヶ丘高校、小台橋高校及び立川緑高校をいう。

(注2)
グループ Aとは、一橋高校、浅草高校、荻窪高校、八王子拓真高校(一般枠)及び砂川高校をいう。

(注4)
大島海洋国際高校を除く島しょの都立高校への再提出はできない。(ただし、大島高校と大島海洋国際高校間の志願変更はできる)

(注3)
グループ Bとは、新宿山吹高校、六郷工科高校、飛鳥高校、板橋有徳高校、青梅総合高校及び東久留米総合高校をいう。



※右のQRコードを読み取ると、都立高等学校入学願書再提出先一覧に移動できます。

VIII 入学手続き(一般入試第一次／分割前期)

<日時> 令和9年 3月1日(月) **全日制**:午前9時30分～午後3時30分 **定時制**:午後4時～午後8時
3月2日(火) **全日制**:午前9時～正午 **定時制**:午後4時～午後8時

※合格者は、この期間内に「入学確約書」を提出し、所定の「納付書」により、納付期間内(合格発表日の翌日から起算して5日以内。ただし、5日目が土・日・祝日に当たる場合は金融機関等の翌営業日)に入学料(全日制 5,650円、定時制 2,100円)を納付書裏面に記載の納付場所で納付しなければなりません。

※入学手続き期間内に入学確約書を提出しない場合は、合格を放棄したものとみなされます。

※入学料の納付がない場合、入学確約書は無効となります。

※都立高校が必要とするその他の書類は、入学確約書を提出したときに各都立高校で交付されますので、所定の期間内に提出してください。

※私立高校に併願優遇で合格している場合は、その私立高校に「辞退届」などの手続きが必要な場合があります。
私立高校の募集要項等で確認をお願いします。

(2)第二次募集・分割後期募集(定時制)

分割募集…あらかじめ募集人員を分割し、第一次募集期間における募集(分割前期募集)と 第二次募集期間における募集(分割後期募集)の2回に分けて募集を行う学校。分割後期募集では面接が必ず行われるほかは、第二次募集の入試と同様に行われます。令和8年度入試で全日制の分割後期募集が廃止され、令和9年度入試でも実施校は、昼夜間定時制の5校です。

第二次募集…第一次募集の結果、入学手続人員が募集人員に達しない学校が実施する募集です。したがって、分割後期募集とは違い、実施校数も募集人員も第一次募集の手続きが終わるまで分かりません。なお、第二次募集でも定員に達しない場合は、第三次募集を行います。

〈分割後期募集・全日制第二次募集日程〉

事 項		日 時
出 願		令和9年3月 4日(木) 午前9時 ～ 午後3時
志願変更	入学願書取下げ	令和9年3月 5日(金) 午前9時 ～ 午後3時
	入学願書再提出	令和9年3月 8日(月) 午前9時 ～ 正午
学 力 検 査 及 び 面 談		令和9年3月 9日(火) 集合 午前8時30分
面 接 及 び 実 技 検 査 等		令和9年3月 9日(火)以後、各都立高校が定める日時
合 格 者 の 発 表		令和9年3月12日(金) 午前8時30分(合否照会サイト上で発表) 正午 (校内掲示)
合 格 者 の 入 学 手 続 き		令和9年3月12日(金) 正午 ～ 午後3時 3月15日(月) 午前9時 ～ 正午

〈定時制第二次募集日程〉

※定時制の集合時刻及び時間割は、各都立高校が定めます。

事 項		日 時
出 願		令和9年3月25日(木) 午後3時 ～ 午後7時
学 力 検 査 等		令和9年3月26日(金) 集合 各都立高校が定める時刻
合 格 者 の 発 表		令和9年3月29日(月) 午前8時30分(合否照会サイト上で発表) 午後3時 (校内掲示)
合 格 者 の 入 学 手 続 き		令和9年3月29日(月) 午後3時 ～ 午後7時 3月30日(火) 午後3時 ～ 午後7時

I 応募資格

全日制第二次募集では、都立高校、都立産業技術高等専門学校に合格した場合は出願できません。定時制の第二次募集では、上記に加え、分割後期募集・全日制第二次募集の合格者も出願できません。また、一人でも多くの生徒の都立高校への進学を保障する趣旨から、既に国私立高校に入学手続きを終えている生徒も出願を遠慮してください。

II 出願方法(分割後期／一般入試第二次)

志願者は、1校に限り出願します。なお、志望校に複数の学科、コース、科(分野)があり、募集がある場合は、第一次募集と異なり、志望の順位を付けることができます(芸術に関する学科を除く)。

<全日制の出願例>

(例1)

	松が谷高校
第1志望	外国語コース
第2志望	普通科
第3志望	—

(例2)

	農業高校
第1志望	服飾科（家庭）
第2志望	都市園芸科（農業）
第3志望	食物科（家庭）

Ⅲ 全日制集合時間及び時間割

	開始時間 ～ 終了時間	時間	検査教科
集合	午前 8時30分		
第1時限	午前 9時00分 ～ 午前 9時50分	50分	国語
第2時限	午前10時10分 ～ 午前11時00分	50分	数学
第3時限	午前11時20分 ～ 午後 0時10分	50分	英語

Ⅳ 出願書類

第一次募集・分割前期募集に準じます。インターネット出願は行わないため、出願に要する書類等の提出は全て紙で行い、入学考査料は所定の納付書で納付し、入学願書の裏面に貼り付けます。なお、願書は全日制・定時制ともに「第二次募集用」を用います。

Ⅴ 出願方法

出願期間中に志願する都立高校の窓口で必要な書類を全て紙で提出します。

Ⅵ 志願の変更(分割後期／一般入試第二次)

(1) 全日制第二次募集における志願変更

志願者は、入学願書提出後、1回に限り行うことができます。方法・条件等は第一次募集に準じます。

<志願変更ができる例>

- (例1) 深川高校の普通科を第1志望、外国語コースを第2志望として出願後取り下げ、松が谷高校の外国語コースを第1志望、普通科を第2志望として志願変更をすることができる。
- (例2) 農業高校の服飾科を第1志望、都市園芸科を第2志望、食物科を第3志望として出願後取り下げ、多摩工科高校の機械科を第1志望、環境化学科を第2志望として志願変更をすることができる。

ただし、次の都立高校へは入学願書の再提出ができない。

- ・ 入学願書の返却を受けた都立高校
- ・ 大島海洋国際高校を除く島しょの都立高校(ただし、大島高校と大島海洋国際高校間の志願変更はできる。)

(2) チャレンジスクール又は八王子拓真高校(チャレンジ枠)に出願後、全日制へ志願変更をする者は、新たに調査書及び自己PRカード(面接実施校の志願者のみ)を提出する。

(3) チャレンジスクール、八王子拓真高校(チャレンジ枠)、一橋高校、浅草高校、荻窪高校、八王子拓真高校(一般枠)及び砂川高校に出願後、全日制へ志願変更をする者は、入学考査料の差額(1,250円)を再提出先の都立高校の窓口において、現金で納付する。

Ⅶ 学力検査

全日制第二次募集は、国語・数学・外国語(英語)の3教科です。

なお、エンカレッジスクールは、学力検査を実施しません。

定時制第二次募集は、国語、数学、外国語(英語)、社会、理科の5教科のうち、各都立高校が定めた3～5教科の検査を実施します。また、面接を実施します。

その他の検査の実施内容は、各都立高校が定めます。

Ⅷ 選考方法

第一次募集に準じます。ただし、学力検査の得点と調査書点の比率は、全日制は「6:4」とします。ただし、北園高校、武蔵野北高校、深沢高校は、受検者ごとに「6:4」と「10:0」のそれぞれの比率に基づき学力検査の得点と調査書点の合計を算出した上で、どちらか高い方を選考に用います。

定時制は「6:4」又は「5:5」のどちらかになります。

エンカレッジスクールとして指定された都立高校の選考は、第一次募集・分割前期募集に準じます。

なお、スピーキングテストの結果は選考に活用されません。

Ⅸ 合格発表

合格者の発表は、志願先の都立高校における校内の掲示及び合否照会サイト上で行われます。

Ⅹ 入学手続き

合格者は、入学手続き期間内に入学確約書を提出し、所定の納付書により、納付期間内(合格発表日の翌日から起算して5日以内。ただし、5日目が土・日・祝日に当たる場合は金融機関等の翌営業日)に入学料(全日制5,650円、定時制2,100円)を納付書裏面に記載の納付場所で納付しなければなりません。入学手続き期間内に入学確約書を提出しない者は、合格を放棄したものとみなされます。また、入学料の納付がない場合、入学確約書は無効となります。

都立高校が必要とするその他の書類は、入学確約書を提出したときに各都立高校で交付されますので、所定の期間内に提出してください。

㉑ インフルエンザ等学校感染症罹患等に対する追検査

第一次募集に出願したにもかかわらず、インフルエンザ等により出席停止になった場合や、月経随伴症状、痴漢被害、やむを得ない入院等、受検者本人の責めによらない事情で受検することができなかった場合に、追検査を実施します。

なお、追検査は、第一次募集を実施する都立高校(全日制課程及び定時制課程(島しょの都立高校を含む。))に限って実施されるものです。分割募集を実施する都立高校においては、追検査を実施しません。

〈追検査の日程〉

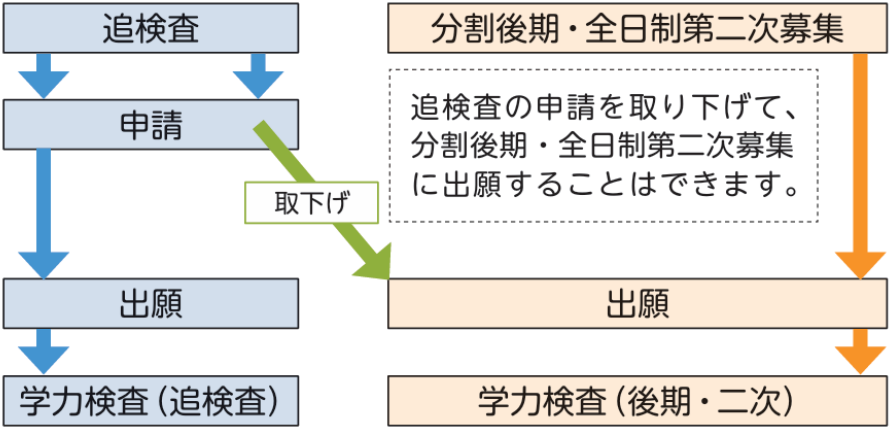
事 項	日	時
出 願	令和9年3月 4日(木)	午前9時 ~ 午後3時
学 力 検 査	令和9年3月 9日(火)	集合 午前8時30分
面接及び実技検査等	各都立高校が定める時間	
合 格 者 の 発 表	令和9年3月12日(金)	午前8時30分(合否照会サイト上で発表) 正午 (校内掲示)
合 格 者 の 入 学 手 続	令和9年3月12日(金)	正午 ~ 午後3時
	3月15日(月)	午前9時 ~ 正午

〈学校感染症等で検査を欠席した場合の申請について〉

- ・ 学校感染症の罹患等により検査を欠席した場合で、追検査を希望するときは、中学校の先生に連絡し、相談してください(在籍する中学校から受検する高校へ欠席の連絡をすることになっています。)
- ・ 中学校に連絡した後、速やかに追検査の措置申請書を中学校の先生にも確認してもらい、出願した高校へ提出します。(令和9年2月22日(月)午後5時まで)
- ・ 出願日に、入学願書等のほか、医療機関の証明書(罹患証明書等)又は中学校長が出席停止の措置を行ったことを証明する書類を高校へ提出します
- ・ 追検査では、国語・数学・英語の3教科の学力検査と各学校で定める検査を組み合わせで実施します。
- ・ 追検査で使用する学力検査問題は、分割後期募集・全日制第二次募集と同一のものです。
- ・ 第一次募集では面接を実施しない学校で、追検査では面接を実施する場合があります。その場合、追検査の出願の際に自己PRカードが必要になります。

※詳細は、東京都立高等学校入学者選抜実施要綱 P.38「第 7 インフルエンザ等学校感染症罹患者等に対する追検査」でご確認ください。

〈追検査実施の流れ〉



8 受検上の配慮

- 1 障害のある受検者に対する措置(令和8年12月18日(金)までに申請)
- 2 事故や病気等による学力検査等実施上の措置(令和8年12月18日(金)までに申請)
- 3 インフルエンザ等学校感染症罹患者等に対する措置(令和9年2月22日(月)午後5時までに申請)
- 4 一般の学力検査における日本語指導を必要とする生徒等に対する配慮(ルビ付き問題・辞書持ち込み)

などがあります。該当する場合は、早めに担任まで申し出てください。

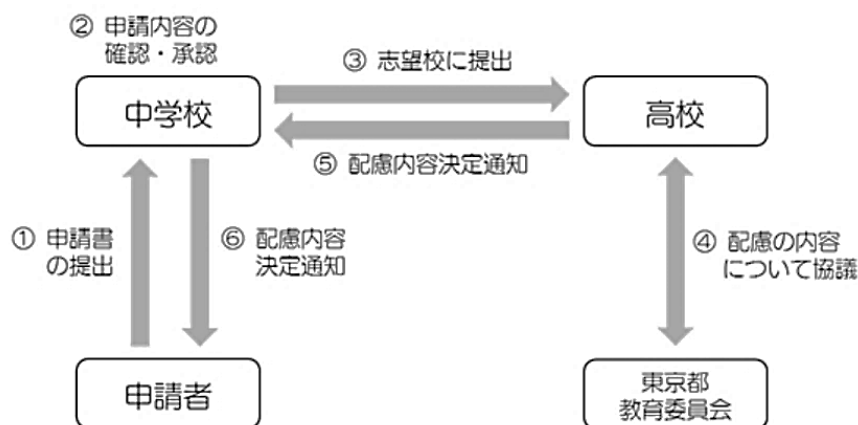
〈受検上の配慮の例〉

障害のある受検者に対する配慮として、以下のような事例があります。実際に行う配慮の内容は、在学する中学校等で受検者が現在受けている配慮の内容を十分参考にしながら、受検者の状況に応じ、個別に決定します。

障害等の内容	受検上の配慮(例)
視覚関係	問題用紙・解答用紙の拡大
	拡大鏡等の持込み
聴覚関係	補聴器の持込み
	英語リスニングテストでの座席の配慮(スピーカーの近くなど)
	面接等における筆談(メモ、ホワイトボードの使用など)

発達障害	別室受検
	検査時間の延長
	問題用紙・解答用紙へのルビ振り
	ICT機器の使用
	記号選択式での受検
肢体不自由	介助者の同行
	家族による送迎
	車いすの使用
	エレベーターの使用
その他、疾病、怪我などに関するもの	医療用器具(インスリン注射、吸入器等)の持込(糖尿病、喘息等)
	飴、チョコレートなどの補食品の持込(糖尿病、低血糖等)
	松葉杖(骨折)
	タオル、ハンカチの持込、手袋の着用(多汗症) 等

【申請の流れ】



9 その他

- ① デュアルシステム科、チャレンジスクール、定時制課程単位制、通信制課程、海外帰国生徒、在京外国人生対象(国際高校)、国際高校国際バカロレアコース、高等専門学校の入学者選抜実施要項については別に定められているので、注意してください。近年は、選抜の方法が高校によって異なります。高校が実施する説明会に参加したり、都教育委員会から配布される資料等を見たりして、受検しようと考えている高校についてよく調べる必要があります。
- ② 学力検査はすべての学校で、一部、マークシート方式による解答となっています。記号による解答部分のみマークシート方式で、国語や英語の作文、社会や理科での説明や作図などの出題は、今まで通り記述方式です。
- ③ 学力検査による入試と比べて、推薦入試は倍率も高く「狭き門」となります。そのことが分かっているにもかかわらず、実際に不合格になると動揺してしまう生徒が毎年いるものです。推薦を希望する際は、「チャレンジだから」といった考えだけではなく、たとえ不合格になっても気持ちを切り替えて次の準備に向かうことができるのか、必要以上にショックを引きずらずに奮起できる気持ちの強さがあるか、親子で十分相談していただくようお願いします。
- ④ 願書、調査書、中学校が発行する成績一覧表、入試答案、ESAT-J 受検に記入する生徒氏名が、すべて一致していなければいけません。生徒氏名は通常、住民票に記載されているものを使用しますが、常用漢字の平易な形を使用してもよいことになっています。どの漢字を使って氏名を書くかをあらかじめ決めておき、今後のすべての書類で統一して使用してください。
- ⑤ 特別支援学校高等部の入学相談及び入学者選考について

〈都立特別支援学校高等部の入学相談選考の日程〉

◎都立特別支援学校高等部普通科の入学相談

視覚障害： 令和9年1月27日(水)
聴覚障害： 令和9年1月28日(木)
肢体不自由：令和9年1月27日(水)
知的障害： 令和9年2月2日(火)
(分教室)： 令和9年2月3日(水)
病弱： 令和9年1月27日(水)・1月28日(木)のいずれかの日

◎都立中高一貫型聴覚障害特別支援学校高等部普通科の入学選考

前期：令和8年12月4日(金)
後期：令和9年1月28日(木)

◎都立知的障害特別支援学校高等部就業技術科及び職能開発科の入学選考

就業技術科：令和8年11月14日(土)(適性検査・面接)
職能開発科：令和8年11月14日(土)(適性検査)
令和8年12月5日(土)(面接)

⑥ 学力検査に基づく選抜を実施しない学校の詳細については、それぞれの要綱をご確認ください。

東京都立高等学校チャレンジスクール入学者選抜実施要綱

https://www.kyoiku.metro.tokyo.lg.jp/documents/d/kyoiku/20260916_r9_04



第1-1 第一次募集日程

事 項		日 時	
出 願		インターネットを活用した出願（以下「インターネット出願」という。）を行い、かつその他出願に要する書類については、下記書類提出期間必着で、各都立高校に簡易書留郵便等により郵送したものを受け付ける。 〔入力期間〕令和8年12月18日（金）から令和9年2月4日（木）午後5時まで ※ 入力期間とは、インターネット出願において、インターネット上の出願サイト（以下「出願サイト」という。）に志願者情報等を入力することができる期間のことである。以下、本実施要綱において同じ。 〔書類提出期間〕令和9年1月29日（金）から2月4日（木）まで（必着） ※ 書類提出期間とは、出願サイトへの入力に加え、出願に要する書類を志願先の都立高校へ提出する期間のことである。以下、本実施要綱において同じ。	
志願変更 (注1、2)	入学願書取下げ	令和9年2月10日（水）	午前9時 ～ 午後3時
	入学願書再提出	令和9年2月12日（金）	午前9時 ～ 正午
検 査		令和9年2月21日（日）	（第1学年相当）集合 各都立高校が定める時刻 面接については、令和9年2月21日（日）以後、各都立高校が定める日時
		令和9年2月19日（金）	（第2学年相当以上）集合 各都立高校が定める時刻
合 格 者 の 発 表		令和9年3月1日（月）	午前8時30分（インターネット上の合否照会サイト（以下「合否照会サイト」という。）上で発表） 午前9時30分（校内掲示）
合格者の入学手続		令和9年3月1日（月）	午前9時30分 ～ 午後3時30分
		3月2日（火）	午前9時 ～ 正午

- (注1) 志願変更ができるのは、第1学年相当に出願した者のみであり、第2学年相当以上に出願した者は志願変更はできない。
- (注2) チャレンジスクール又は八王子拓真高校（チャレンジ枠）の志願者は、全日制の都立高等学校（ただし、全日制の応募資格を有する者に限る。）、他のチャレンジスクール（八王子拓真高校（チャレンジ枠）を含む。）、一橋高校、浅草高校、荻窪高校、八王子拓真高校（一般枠）及び砂川高校への志願変更ができる。

東京都立高等学校定時制課程単位制入学者選抜実施要綱

https://www.kyoiku.metro.tokyo.lg.jp/documents/d/kyoiku/20260916_r9_05

※定時制日程は、P.14に掲載しています。



東京都立高等学校通信制課程入学者選抜実施要綱

https://www.kyoiku.metro.tokyo.lg.jp/documents/d/kyoiku/20260916_r9_06



第1-1 前期選抜日程

事 項	日	時
出 願	インターネットを活用した出願（以下「インターネット出願」という。）を行い、かつその他出願に要する書類については、下記書類提出期間必着で、各都立高校に簡易書留郵便等により郵送したものを受け付ける。 〔入力期間〕 令和8年12月18日（金）から令和9年2月 4日（木）午後5時まで ※ 入力期間とは、インターネット出願において、インターネット上の出願サイト（以下「出願サイト」という。）に志願者情報等を入力することができる期間のことである。以下、本実施要綱において同じ。 〔書類提出期間〕 令和9年1月29日（金）から2月 4日（木）まで（必着） ※ 書類提出期間とは、出願サイトへの入力に加え、出願に要する書類を志願先の都立高校へ提出する期間のことである。以下、本実施要綱において同じ。	
検 査	令和9年2月22日（月）	集合 午前9時
合 格 者 の 発 表	令和9年3月 1日（月）	午前8時30分（インターネット上の合否照会サイト（以下「合否照会サイト」という。）上で発表） 午前9時30分（校内掲示）
合格者の入学手続	令和9年3月 1日（月） 3月 2日（火）	午前9時30分～午後3時30分 午前9時 ～ 正午

（注1） 前期選抜は、1校に限り出願することができる。

（注2） 前期選抜は、第1学年相当のみとし、高等学校等中途退学者については、高等学校等における単位を取得していない者、又は高等学校等における修得単位数が当該都立高校で定める修得単位数以下で、かつ、修得単位を引き継がない者に限り出願することができる。

第2-1 後期選抜日程

	出 願	学 力 検 査	合 格 者 の 発 表	入 学 手 続
一 橋	令和9年4月1日（木） 4月2日（金） 午前10時～午後3時	令和9年4月4日（日） ・第1学年相当 集合 午前9時 ・第2学年相当以上 集合 午前11時30分	令和9年4月9日（金） ・第1学年相当 午前8時30分 （校内の掲示及び合否照会 サイト上で発表） ・第2学年相当以上 午後0時30分 （校内の掲示及び合否照会 サイト上で発表）	令和9年4月9日（金） ・第1学年相当 午前9時～正午 ・第2学年相当以上 午後1時～午後3時 令和9年4月10日（土） 午前9時～正午
新 宿 山 吹	令和9年4月1日（木） 4月2日（金） 午前9時～午後3時	令和9年4月5日（月） ・第1学年相当 集合 午前8時40分 ・第2学年相当以上 集合 午前11時	令和9年4月9日（金） ・第1学年相当 午前8時30分 （校内の掲示及び合否照会 サイト上で発表） ・第2学年相当以上 午後0時30分 （校内の掲示及び合否照会 サイト上で発表）	令和9年4月9日（金） ・第1学年相当 午前9時～正午 ・第2学年相当以上 午後1時～午後3時 令和9年4月10日（土） 午前9時～正午
砂 川	令和9年4月1日（木） 4月2日（金） 午前9時～午後3時	令和9年4月6日（火） ・第1学年相当 集合 午前8時40分 ・第2学年相当以上 集合 午前10時40分	令和9年4月9日（金） ・第1学年相当 午前8時30分 （校内の掲示及び合否照会 サイト上で発表） ・第2学年相当以上 午後0時30分 （校内の掲示及び合否照会 サイト上で発表）	令和9年4月9日（金） ・第1学年相当 午前9時～正午 ・第2学年相当以上 午後1時～午後3時 令和9年4月10日（土） 午前9時～正午

（注1） 検査日の異なるそれぞれの都立高校に出願することができる。また、都立高校の定時制課程にも出願することができる。

（注2） 第2学年相当以上の募集は、転学・編入学募集として実施する。

10 東京都立産業技術高等専門学校入学者選抜実施概要について

※令和9年度本科学生募集要項(令和9年4月入学生向け)は、令和9年11月下旬頃公開予定です。

※求める入学者像(アドミッション・ポリシーの抜粋)

本校の教育理念に基づいた人材を育成するために、以下の能力と意欲を有する生徒を求める。

- (1) 向上心を持ち、自分の決めた目標に向けて粘り強く努力できる人
- (2) 高等専門学校での教育を受けるのにふさわしい基礎知識・能力を有している人
- (3) コミュニケーション能力を身に付け、世界を舞台に活躍したい人
- (4) ものづくりが好きで、実践的技術者になりたいと考えている人

(1)選抜種別 「推薦に基づく選抜」と「学力検査に基づく選抜」を実施。

(2)検査内容

① 推薦に基づく選抜 中学校長が作成する調査書、面接及び小論文

② 学力検査に基づく選抜

※学力検査(国語・数学・英語)及び中学校長が作成する調査書

※中学校英語スピーキングテスト(ESAT-J)は使用しません。

(3)選抜日程

	推薦に基づく選抜	学力検査に基づく選抜（第一次募集）
出願サイトへの入力期間	令和8年12月18日（金曜日）から 令和9年1月18日（月曜日） 午後5時まで	令和8年12月18日（金曜日）から 令和9年2月4日（木曜日） 午後5時まで
出願受付期間 （書類提出期間）	令和9年1月8日（金曜日）から 1月18日（月曜日）まで	令和9年1月29日（金曜日）から 2月4日（木曜日）まで
検 査 日	令和9年1月27日（水曜日）	令和9年2月15日（月曜日）
合 格 発 表 日	令和9年2月2日（火曜日）	令和9年2月19日（金曜日）

※ 入力期間とは、インターネット上の出願サイトに志願者情報等を入力することができる期間のことです。

※ 書類提出期間(出願受付期間)とは、調査書等出願に要する書類を高専へ郵送により提出する期間のことです。

※ 検査実施日・合格発表日は都立高等学校と別日程です。

※第一次募集で欠員が生じた場合は、第二次募集を実施します。

※ 学力検査に基づく選抜においては、本校と都立高校のどちらにも出願することは可能ですが、本校に合格した場合は、都立高校に出願していても受検することはできません。

※学力検査に基づく選抜(第一次募集)の合格者で、他の高等学校や高等専門学校等を併願受検している方のうち、所定の条件を満たす場合は、申請を行うことで入学金の延納制度(納付期限の延長)が可能です。延納制度の詳細については、11月下旬以降にホームページ上でご案内します。

(5) 検査内容等

項 目	推薦に基づく選抜	学力検査に基づく選抜（第一次募集）
要 件	都内在住かつ都内の中学校を卒業見込みの者 一般推薦：中学校長の推薦を受けた者 特別推薦：連携校又は指定校の校長の推薦を受けた者	都内在住者のほか一定の募集人員を設け、都外在住者も受入れ
検査内容等	中学校長が作成する調査書	中学校長が作成する調査書
	小論文 検査時間 60分	学力検査 国語・数学・英語 各50分 ※英語学力検査時間の最初の約10分間にリスニングテストを実施
	面 接	
配 点	(別表1) のとおり	(別表2) のとおり
検査会場	高専品川キャンパス及び 高専荒川キャンパス	高専品川キャンパス及び 高専荒川キャンパス

(6) 推薦に基づく選抜の配点

満 点		
調査書	面 接	小論文
500	300	200

(7) 学力検査に基づく選抜の配点

学力検査		調査書		学力検査： 調査書	満 点	
教科	学校指定による 傾斜配点	教科の評定の扱い			学力検査	調査書
		学力検査を実施する 教科	学力検査を実施しない 教科			
国語 数学 英語	数 学 1.5 倍	1 倍	理 科 1.4倍 その他 1.2倍	7 : 3	700	300

※その他の詳細は、東京都立産業技術高等専門学校入学者選抜実施概要(下記 URL)でご確認ください。右の QR コードを読みとると移動できます。

<https://www.metro-cit.ac.jp/examinee/index.html>



私立高校について

① 令和9年度 都内私立高等学校入学者選抜実施要項(東京都HPより)

都内私立高等学校の令和9年度入学者選抜実施要項について、令和8年9月24日現在で取りまとめたものが、2026年10月7日に報道発表され、東京都HPに掲載されています。一部抜粋し、お知らせします。詳細は、右QRコードを読みとるとHPに移動できます。



今回、生徒を募集する学校数は、全日制課程181校、定時制課程3校、通信制課程8校で、前年度から2校増加しました。また、募集人員の合計は、全日制課程35,476人、定時制課程286人、通信制課程7,020人であり、前年度に比べ全日制課程は349人減少、通信制課程は25人減少、定時制課程は同数でした。

なお、各学校の実施内容については、今後変更になる可能性があるため、詳細については各学校へお問い合わせ願います。

(1) 募集状況別学校数

区分	9年度	8年度	増減
生徒募集校	181	179	2
生徒非募集校	52	53	-1
募集停止校	1	1	0
合計	234	233	1

1. 休校中の学校は除く
2. 特別支援学校は集計に含んでいない(以下同)
3. 新設:武蔵野音楽大学附属高等学校(男女校)
4. 募集再開(帰国生のみ):聖心女子学院高等科(女子校)
5. 募集停止:東邦音楽大学附属東邦高等学校(男女校)

(2)生徒非募集校の内訳

男子校 13校(13校)	暁星、麻布、芝、高輪、海城、成城、早稲田、獨協、攻玉社、駒場東邦、東京都市大学付属、本郷、武蔵
女子校 32校(33校)	大妻、共立女子、女子学院、白百合学園、雙葉、三輪田学園、頌栄女子学院、東洋英和女学院、普連土学園、山脇学園、学習院女子、跡見学園、桜蔭、香蘭女学校、品川女子学院、鷗友学園女子、恵泉女学園、昭和女子大学附属昭和、聖ドミニコ学園、田園調布学園、田園調布雙葉、実践女子学園、東京女学館、大妻中野、光塩女子学院、立教女学院、豊島岡女子学園、女子聖学院、富士見、吉祥女子、晃華学園、大妻多摩
男女校 7校(7校)	広尾学園小石川、サレジオ国際学園世田谷、東京農業大学第一、三田国際科学学園、渋谷教育学園渋谷、穎明館、ドルトン東京学園

(注)カッコ内は令和8年度の学校数

(3)男子校・女子校・男女校別募集状況

区分	9年度		8年度		増減	
	学校数	募集人員	学校数	募集人員	学校数	募集人員
男子校	17	2,260	17	2,265	0	-5
女子校	39	6,285	39	6,365	0	-80
男女校	125	26,931	123	27,195	2	-264
計	181	35,476	179	35,825	2	-349

(注)若干は「0人」として集計

② 推薦入試

推薦入試は、原則として在籍している中学校長の推薦があり、合格したら必ず入学することを条件に、面接・作文・適性検査などで選抜試験を受けることができる制度です。東京私立中学高等学校協会のHP(右QRコードを読みとると移動できます)には、以下のように記載されています。



推薦入試を受験するには、次の①～③を全て満たす必要があります。

①受験する私立高校が第1志望であること。

第1志望ですから、合格した場合は必ずその私立高校に入学しなければなりません。また都立高校の推薦入試や他の私立高校の推薦入試を受験することもできません。

②在籍する中学校長の「推薦書」がもらえること。

③各私立高等学校が定めている推薦基準に該当すること。

推薦基準は、学校によって異なりますので、必ず学校説明会や合同説明会等で募集要項を入手してご確認ください。

原則、入試相談を行ったうえで出願する。

I 出願資格

上記の通り、第1志望であり、合格したら必ず入学することが条件です。「高校側の基準」、および一中の「推薦受験(検)資格の認定について」の両方を満たしている場合に受験可能になります。合格後の辞退はできないので、よく考えて希望してください。 ※推薦入試で合格した場合、必ずその高校に入学しなければいけません。

「推薦受験(検)資格の認定について」(巻末資料を参照してください)に記載があるように、都立・私立推薦制度の利用希望者は、以下の①～③の項目をすべて満たしていることが条件となり、推薦の認定については、校内の推薦委員会による審査、学校全体での検討を経て、最終決定は学校長が行います。

- ① 志望校(学科、コース)に対する興味・関心があり、志望目的が明確でその理由が適切であること。
- ② 学校生活を健全かつ良好に過ごしており、三鷹一中を代表することを自覚し、中学校在学中および志望校進学後もその姿勢を確実に継続できること。
- ③ これらの条件に加えて、高等学校の定める基準を満たしていること。

II 推薦基準

上記の通り、多くの学校が、成績等の推薦基準を設けています。推薦の基準は各学校の要項などに明記しています。

- ア 「推薦にふさわしい人物であり、中学校長の推薦を受けていること。」が前提です。
- イ 成績の基準は、2学期末時点の内申(通知表に記載される5段階評定)を用いる学校がほとんどで、「5教科の内申合計〇〇以上」「3教科の内申が〇〇以上、かつ9教科の内申が〇〇以上」など学校により異なります。また、特定の教科が一定の成績以上であること、すべての教科に1や2がないことなどの条件がある場合があります。
- ウ 「3年間で欠席15日以内」のように、欠席や遅刻の回数に条件を定めている学校もあります。
ただし、入院など、正当な理由があるときは、考慮される場合があるので、必ず個別相談をしてください。
- エ 英検、漢検などの資格や生徒会活動などによって、加点される場合があります。
- オ スポーツや文化活動による推薦の場合は、その実績や技能が重要な条件となります。
また、入学後そのスポーツや文化活動を原則3年間続けることが条件となります。
- カ 事前の学校説明会への参加を条件にする学校もあります。

III 入試日程

- ア 入試日 ⇒ 東京都内の私立高校の場合、例年1月22日以降に実施されます。
- イ 合格発表、入学手続き ⇒ 多くの学校では入試当日～翌日に合格発表があり、発表から数日以内(早い学校では発表翌日まで)に入学手続きを行うこととされています。

IV 合否の判定

- ア 調査書、推薦書、面接、作文等の結果を総合的に判断して行います。一部、適性検査として、学力検査を実施する学校もあります。
- イ 基準に達していれば、高い可能性で合格する学校と、基準は受験資格に過ぎず、一般入試同様に不合格をだす学校があります。
- ウ 推薦で不合格となった場合、その学校の一般入試を再度受験することができます。再受験の場合に、一般の受験生よりも優遇される学校もありますので、募集要項で確認してください。

推薦制度を利用するにあたって

推薦制度を利用する場合、都立・私立を問わず、生徒本人がその高校を第一希望としていることや、中学校生活にまじめに取り組み、高校でもそれが期待できることが推薦の前提条件です。推薦制度は、本校の校長から、該当の高校の校長へ推薦するものです。推薦生徒としての自覚と責任をもち、推薦の意味をよく理解した上で希望して下さい。万が一、推薦にふさわしくないと判断された場合は、学校長の判断で推薦を取り消されることもありますので、責任ある行動をとるよう心がけて下さい。また、高校進学後も推薦生徒としての責任は続きます。出身中学校の推薦とは、中学校と高等学校の信頼関係にかかわります。入学後も推薦に値するような高校生活を送れるように努力して下さい。

③ 一般入試

一般入試とは、筆記試験等を受けて合否が決まる入試です。

一般入試には、大きく2つの形態(1つは優遇制度を利用しての受験、もう1つは優遇制度を利用しない受験(いわゆるフリー受験))があります。

選抜は、「学力検査」「調査書」「面接」などにより、各私立高校が自由に行います。「国語・数学・英語・面接」が最も多いパターンですが、「2教科+面接」や「作文」を課す学校もあります。また芸術系の学校では実技試験等もありますので、学校説明会や合同説明会等で必ずご確認ください。

(1) 優遇制度を利用しての受験 入試相談が必要

優遇制度はあくまで優遇ですので、当日のテストで合格ラインに届かなければ不合格になります。ですから、安全のために複数の私立高校を受験する必要があるのですが、他の私立高校との併願条件等は学校ごとに異なります。事前に必ず調べてください。

なお、一部の高校ではこれらの制度の利用希望者について、推薦入試のように「問題行動がなく良好な学校生活が送れること」といった条件を設けていることがあります。その場合、推薦入試に準じて一中校内の推薦委員会で検討します。

※入試日程や試験科目、優遇の条件等は学校によって異なります。受験をするにあたって最も大切なことは、学校説明会や合同説明会に足を運び、学校からの説明を聞き、しっかりと自分で確認することです。

① 併願優遇制度

「第一志望の学校が不合格の場合に入学する」ことを条件にして優遇されるのが一般的な併願優遇で、多くの私立高校で実施されています。「第一志望の学校」は都立だけの場合(公立併願優遇)と、私立も可の場合(公私立併願優遇)がありますので、募集要項でよく確認してください。各私立高校が成績等の基準(単願推薦より高くなります)を設け、その基準を満たした生徒に対して、加点するなどの優遇を行う制度で、優遇されるため合格の可能性は高まります。どのように優遇するかは学校ごとに異なりますので、募集要項でよく確認してください。併願優遇制度の利用を希望する場合、推薦入試同様、入試相談を行う必要があります。一般入試ですので、中学校長の推薦書は必要ありませんが、入試相談を経て受験することになりますので、12月の三者面談までには志望校を決めておき、担任の先生に相談する必要があります。併願優遇を行わない学校もありますので、事前に必ず調べてください。

② 第一志望優遇制度

合格したら必ず入学することを条件に優遇される制度で、一部の私立高校で実施されています。「推薦」とよく似ていますが、特に成績基準はなくて入学願書で第一志望であることを示すだけでよい高校から、「推薦」並みに成績などの基準を満たさなければ利用できない高校など、優遇のための基準の有無は学校によるので、募集要項でよく確認してください。第一志望優遇制度の利用を希望する場合、基準が設けられている学校は、推薦入試同様、入試相談を行う必要があります。

I 出願基準

ア 推薦入試と同様に成績(内申点)等の基準があります。

イ 一般的に、推薦より併願優遇の方が、基準が高くなります。

II 入試日程

ア 入試日 ⇒ 東京都の場合、2月10日～数日間です。

イ 合格発表、入学手続き ⇒ 試験の当日や1～3日後くらいに行います。

※ 入試は一般受験と同時にこなされることが多いですが、学校によっては受験コース別に、複数の受験日から受験日を指定する、もしくは指定されるところもあります。

※ 公立の学校を第1志望としている場合に、公立高校の発表まで手続きを待つ学校があります(これを「延

納制度」といいます)。その際は、延納の手続きが必要になる場合があります。また、公立の発表前に費用の一部を納めなければならない学校などもありますので、募集要項でよく確認してください。

Ⅲ 入試科目

- ア 多くの学校が「国、数、英」の3教科ですが、5教科や2教科の学校や、受験科目を選択できる学校もあります。
- イ 面接を実施する学校がほとんどです。個人面接が多いですが、中には保護者同伴面接やグループ面接を実施している学校もあります。

Ⅳ 可否の判定

- ア 調査書、学力検査、面接の結果を総合的に判断して行われますが、多くの学校が学力検査の結果にウエイトを置いています。
- イ 基準に達していれば、きわめて高い可能性で合格する学校と、基準は受験資格に過ぎなかったり、基準を満たしても一定の点数を加点するだけであったりするなど、学力検査の点数次第で可否が分かれる学校もあります。「優遇制度」の実施校では、一般入試の受験者の大半が優遇を受けているようなこともあるため、優遇制度を利用しない受験者の合格が難しくなることがあります。各学校の募集要項を確認し、各校の制度の特徴をきちんと理解して利用するようにしてください。

延納の有無や手続きの方法を確認してください

私立高校を受験するにあたり、出願・受験日に関するスケジュールの確認はもちろんですが、入学金納入締め切り等の手続きのスケジュールや「延納制度※」の有無も併せて確認してください。

※「延納制度」…他校を第一志望としているため、合格後の入学手続きを第一志望校の発表まで延期してもらえる制度

- ① 延納が可能な場合でも、すべての学校に「延納手続き」が必要とは限りません。手続きの締め切りが「都立高校一次募集発表翌日まで」という場合は、延納手続きは不要です。
- ② 手続きの方法は、入学願書に都立の志望校名を記入するものや、別途用紙に記入するものなどがあります。中学校長の押印が必要な場合や中学校で書類を作成する場合は、担任にその旨を伝え、書類を提出してください。

(2) 優遇制度を利用しない受験 入試相談は不要

併願優遇を利用したくても、学校の基準に少し届かず利用できない場合、優遇を受けずに受験することです。一般に「フリー受験」と呼ぶこともあります。また、そもそも併願優遇の制度がない学校もありますので、そのような学校の場合は「フリー受験」のみとなります。

4 入試相談

推薦や第一志望優遇、併願優遇を希望する生徒については、中学校が事前に高校側と相談をします。これを「入試相談」といいます。中学校側から受験希望者を提示し、高校側はその学校の基準をもとに、受験可能かどうかを提示します。受験者本人・親子で参加する私立高校の「個別相談会」などで可否の見通しを提示されることがありますが、推薦制度や併願優遇制度・第一志望優遇制度を利用する場合には、中学校を通しての入試相談を行うことが必要です。

注意 ※埼玉県私立高校は中学校とはなく保護者と入試相談を行います。学校説明会や募集要項で必ず確認してください。受験の際は各自で行ってもらうことになります。

重要 ※多くの学校が郵送での受付で、12月15日必着となっています。12月12日・13日が土日になるので、12月9日(水)までにすべての入試相談資料を確認し、発送の準備をする必要があります。そのため、期限までの書類の提出にご協力をお願いします。

「推薦」「併願優遇制度」「第一志望優遇制度」の利用希望は、12月三者面談最終日の12月8日(火)で完全に締め切ります。

※制度の利用を検討している人は、まず11月の三者面談の時点で必ず担任の先生と相談してください。

5 自己推薦

自分の特技や部活動などの実績を自ら推薦する制度を設けている学校があります。可否は不確実で当日の学力検査や面接の結果で決まります。

6 出願書類

国立・私立の願書等は、各自で準備してください。募集要項の中に必要な書類が入っています。説明会で配布される場合が多いですが、そうでない場合は購入することになります。インターネット出願も多くなっていますので、募集要項をよく読んで、出願方法を確認してください。また、保護者の方だけでなく、生徒本人も受験に向けての流れをきちんと理解して取り組めるようにしてください。

ア 入学願書	証明写真が必要です。本校では希望者を対象に、以下の日程で撮影を行います。 12月2日(水)4校時予定
イ 調査書	私立指定の調査書を用いる場合と、公立用の調査書を用いる場合があります。 指定の調査書の場合は、早めに担任に提出してください。
ウ 受験料	20,000円～ 指定の振込用紙がある、願書に振込用紙が付いている、窓口で現金で支払う、インターネットで振込むなど、学校により様々です。期限を守り、間違いのないようにしてください。
エ 推薦書	推薦制度を利用する場合に必要です。推薦を希望する場合は指定用紙を担任に提出してください。
オ その他	受験する学校により、面接資料、検定取得を証明するもの、延納願い、合格通知用封筒の宛名の書類等もあります。

7 推薦・併願基準にかかわること

私立の推薦基準としての内申合計は素内申(通知表に記載される5段階評定)の合計です。都立の換算内申ではありません。また、内申点が基準に満たない場合でも、生徒会や委員会活動、部活動の活動実績や大会成績、各種検定資格などで内申点に加点してくれる高校もあります。すべての学校ではないので、募集要項・学校説明会で確認してください。

また、推薦入試といっても基準は「出願資格」に過ぎず、一般入試同様に当日のテストの結果次第で可否が決まる学校(大学付属の学校に多く見られます)もあります。こうした学校の場合、推薦不合格になった場合のこともあらかじめ考慮・計画した上で受験するようにしてください。

今後の提出物・手続きなどについて

これから進路が決定するまで、家庭・学校・高等学校間で、間違いのないように様々な書類をやりとりしながら、進めていくことになります。以下の書類一覧を確認しながら、提出の準備、確認を行ってください。

I 家庭・中学校間でやり取りしていく書類について

I 調査書等の記載事項の表記

入学試験を受けていく上で、調査書、願書、当日の試験の答案用紙等、すべての情報が統一されている必要があります。もしこれらが異なると、最悪の場合、合格を取り消されることがあります。そのため、記載情報をあらかじめ印刷したものを1学期に配付し、夏の三者面談のときに、氏名・生年月日・住所を確認させていただきました。書類の記入は、ご家庭で保管されている記載情報を確認して進めてください。夏に確認した時点から変更があった場合は、11月の三者面談のときに、担任に申し出てください。

※注意1 原則として住民票と同じ表記(漢字)で書かなければいけない書類

- ① 入学願書
- ② 当日の試験答案ならびに当日試験会場で提出する書類
- ③ 調査書
- ④ 推薦書や健康診断書

※注意2 上記「注意1」の書類は、住民票が旧字体で記載されている場合、常用漢字で表記しても差し支えありません。ただし、注意1の書類はすべて同じ表記で統一されている必要があります。常用漢字で表記する場合は、すべて常用漢字で統一してください。

(例) 澤⇔沢 邊⇔辺 齊⇔斉 恵⇔惠

II 調査書に記載する「諸活動の記録」について

中学校から高等学校へ提出する調査書には、中学校3年間の学校内外での様々な活動の事実を記載する「諸活動の記録」という欄があります。都立高校受検の場合、本人・保護者と確認の上でその内容を決定します。後日配布する「諸活動の記録申請用紙申告」をご確認いただき、期日までにGoogle formにて回答してください。

(令和9年度東京都立高等学校入学選抜実施要項より)

特別活動等及びその他の学校内外の活動のうちから、当該志願者において特筆すべき活動を取り上げ、その活動の事実や実績を、所見を除いた客観的な記録として記入する。ただし、成績一覧表に記載されない志願者及び成績一覧表の作成を要しない志願者については、生徒指導要録の記載内容等を基にできる限り記入する。なお、「諸活動の記録」の記入に当たっては、学級担任、教科担任の意見のみでなく、関係教職員の意見等を総合して記入し、中学校長が確認する。また、顕著な成果のある活動だけでなく、次のような活動についても記入することができる。

- (ア) 当該志願者が積極的な態度や意欲をもって取り組んでいる活動
- (イ) 当該志願者の人間形成上好ましい影響のある活動や他の生徒に好ましい影響を与えている活動
- (ウ) 当該志願者の中学校3年間における継続的な活動又は各学年における特筆すべき活動

(例) ・図書委員として「図書だより」の作成を担当(第3学年)
・〇〇検定〇級を取得(第3学年)

Ⅲ 推薦願・優遇願

受験(検)校が決定したら、担任に以下の書類(該当するもの)を提出してもらいます。

※ 基本的には、12月の三者面談で最終確認したのち、該当するもののみをお渡しします。

都立推薦受験、私立推薦受験、私立の併願優遇制度を利用した受験など、中学校の推薦や入試相談を必要とする受験(検)を希望する場合、推薦願・優遇願・制度を利用する届の提出が不可欠です。これらの提出書類は、依頼書や誓約書の役割をもちます。未提出の場合、私立高校の入試相談を行うことができず、その方法での受験できなくなります。期限内の提出にご協力ください。

〈推薦願の種類〉 面談翌日に提出。最終締切:12月9日(水)

- | | |
|------------|---------------------|
| ◆ 都立推薦受験 | ⇒ 「都立推薦願」(薄い緑色) |
| ◆ 私立推薦受験 | ⇒ 「私立単願推薦願」(ピンク色) |
| ◆ 私立第一志望優遇 | ⇒ 「私立第一志望受験願」(薄い水色) |
| ◆ 私立併願優遇受験 | ⇒ 「私立併願優遇利用届」(黄色) |

※ 私立の場合、より難しい科やコースへのチャレンジの機会を設定する例があります。入試相談の相談用紙にチャレンジの有無やコースの名称なども記入しなければならないことがあるため、希望する場合は推薦願や併願優遇利用届などに、関連する内容を記入していただきます。

Ⅳ 調査書作成願

受験(検)の日程や出願に必要な書類等を確認するためのものです。全員が必ず提出します。調査書作成願をもとに書類を作成するので、正確に記入し、期日までに必ず提出してください。

なお、各自で入手した私立高校の調査書用紙や推薦用紙、高校の募集要項を、学校ごとにクリアファイルにまとめ、必要事項を記入した調査書作成願(0号封筒)に入れて、提出してください。クリアファイルは、ご家庭で準備をお願いします。

Ⅴ 調査書用紙・推薦用紙等高校独自の書類

私立高校 私立高校は調査書の様式が指定されており、以下の3通りのいずれかになります。

ア その高校独自の様式 イ 私立統一様式 ウ 都立用と同じ様式

アとイの場合は、私立の募集要項に同封されています。募集要項を手に入れ、調査書用紙を提出してください。ウの場合は調査書用紙の提出は不要です。その他、推薦書(指定用紙)等の中学校で記入・作成する書類はすべて提出してください。

※高校独自の様式でも公立用様式(都立用と同じ様式)でもどちらでも可、と記載されている場合、公立用様式で発行します。調査書作成願の調査書の種類の欄の、「公立様式」に○をつけてください。

都立高校

文化・スポーツ等特別推薦の「文化・スポーツ等特別推薦書」、チャレンジスクールの「志願申告書」等、高校が配布している書類は、各自で高校から入手、もしくは東京都教育委員会ホームページから取得し、必要に応じて提出してください。

中学校と皆さんとの間でやり取りしていく書類の中には、高校側に提出するものも多く、高校側との提出の期限は絶対に守らなくてはなりません。書類に不備があったり、書類が全てそろっていないことで受験ができなくなってしまうこともあります。自分の入試スケジュールを確認し、それに関わる書類の提出期限(中学校側への期限/高校側への期限)を必ず確認し、期限に遅れないようにしてください。

2 受験写真

12月2日(水)に学校で撮影します。希望者のみの撮影となります。インターネット出願等で使用できる①写真データ(800円)、②写真(3cm×4cm)4枚+データ(1,200円)、③写真(3cm×4cm)4枚(550円)になります。写真が必要になった場合、Webで追加申し込みができます。撮影を希望される場合は、後日配布する集金袋におつりのないよう現金を入れ、撮影当日に持参してください。撮影した写真は一週間から10日ほどでのお渡しとなります。受験(検)写真撮影の詳細については、近日中に進路だよりでお知らせします。

※学校で撮影しなくてはならないという趣旨のものではありません。個人で撮影される場合には、申し込まなくてもかまいません。

3 地域優遇・指定校推薦

三鷹地域を指定する形で、若干の基準の緩和をする学校が近隣にはあります。例えば、「大成高校」からは「地元特別枠」の依頼がきています。私立高校の学校相談会などを活用して希望校での制度の有無を確認してください。

また、高校が示す出願資格に該当し、中学校長が推薦を認めた生徒1名が、指定校推薦枠として受験することができます。今年度は、「明治大学付属明治高等学校」の指定校推薦がきています。

いずれも成績などに関する基準があります。志望校として考えている場合、推薦枠等の利用を希望する場合は、第3回進路希望調査票に学校名を記入し、第2回進路面談等を通じて担任に申し出てください。希望者が定員以上の場合、学年および校内で審査を行い、仮内申の成績上位者から認定をしていきます。仮内申伝達の際に、結果を伝えます。

受験(検)の基本的な手順

① 出願書類の準備…要項に従って、書類の作成や受験(検)料の納入などを行います。

② 出願…受験(検)校に願書を提出する。

- 受験票を受け取ります。受験番号が決まります。
- 対面での提出になる場合、基本的には生徒本人が行きます。
- 私立高校はインターネット出願か、対面での提出による出願となります。都立高校は、推薦、第一次募集・分割前期募集を行うすべての学校がサイト上での出願となります。(志願変更を除く)

※都立高校の推薦に基づく選抜、学力検査に基づく選抜の第一次募集・分割前期募集では、出願に必要な書類は中学校から高校に郵送します。出願の準備が必要なのは「自分一人ではない」ということを意識して、中学校での作業に支障がないように、中学校から指示された期日までに必ず準備しましょう。

③ 入学試験…受験(検)校に行き、試験を受けます。

④ 合格発表・手続…受験(検)校に合格発表を見に行きます。

- 都立高校はそれぞれの学校内に掲示するとともに、ウェブサイトへの掲載を実施します。
- 私立高校は掲示や郵送、インターネットでの発表など様々です。
- 合格した場合は入学手続きをします。
- 第一希望校の発表を待つ場合は、納入金の延期(延納)の手続きを行なうこともあります。

※私立高校を複数受験する場合は、入試日が重なっていないか、手続きに無理がないかなど、日程を必ず確認してください。

入試・発表までの流れ

※私立の入試制度を利用しようと考えている人は、次のスケジュールとなります。

1 志望校を決める

- 様々な条件を考慮して志望校をしばり込んだら、実際に高校を見学して意思を固めていく。
- 高校によっては、設定された高校説明会(生徒・保護者対象)への参加を条件にしているところもあるので注意する。(説明会には相談窓口を設けているところが多いので、利用するとよいでしょう。)

2 意思を表明する

- 第3回進路希望調査に、志望校として考えている高校名をあげ、推薦入試・優遇制度の利用の希望を明らかにする。

3 11月進路面談

- 希望する高校の基準と、本人の成績等をもとに進路面談で相談をする。
- 第3学年(2学期)の成績(内申)によって、どのようにするかということの確認もする。
- (1学期の成績より上がったら、変わらなかったら、下がったら…受験校をどうするか考える)
- 全生徒について志望校が適切か、推薦等の基準を満たしているかなど、学年の先生全員で確認する。

4 12月進路面談

- 2学期の成績と、第4回(最終)進路希望調査(11月の進路面談終了後に配布予定)に基づいて、志望校の再確認をする。(2学期の成績は、1学期と2学期の成績を総合して出しています。)
- 推薦は、本人・保護者の意思の確認がないと手続きを進められない。また、手続きを進めたあとで変更はできないので、家庭で、よく相談の上、「推薦願」を中学校に提出をする。(推薦願は、12月の進路面談のときに手渡しします。)
- 面談期間中の午後を利用して、志望校の入試要項や願書等を入手し、出願の準備をする。

5 12月15日以降入試相談

- 「推薦願」の提出を受けて、12月15日より学年の先生が高校に出かけて入試相談を行い、推薦入試希望の生徒(併願優遇・第一志望優遇についても:後述)の名簿や書類を提出する。多くの学校が、12月15日必着の郵送での受付となっているので、書類や検定の合格証の写しなどは期限を守って提出する。
- (この相談で、推薦入試の受験資格を得ることができる。認められなかった場合は、推薦入試の制度を利用できないので、別の入試方法(第一志望優遇制度・一般入試で受験することが多い。)を検討する。)

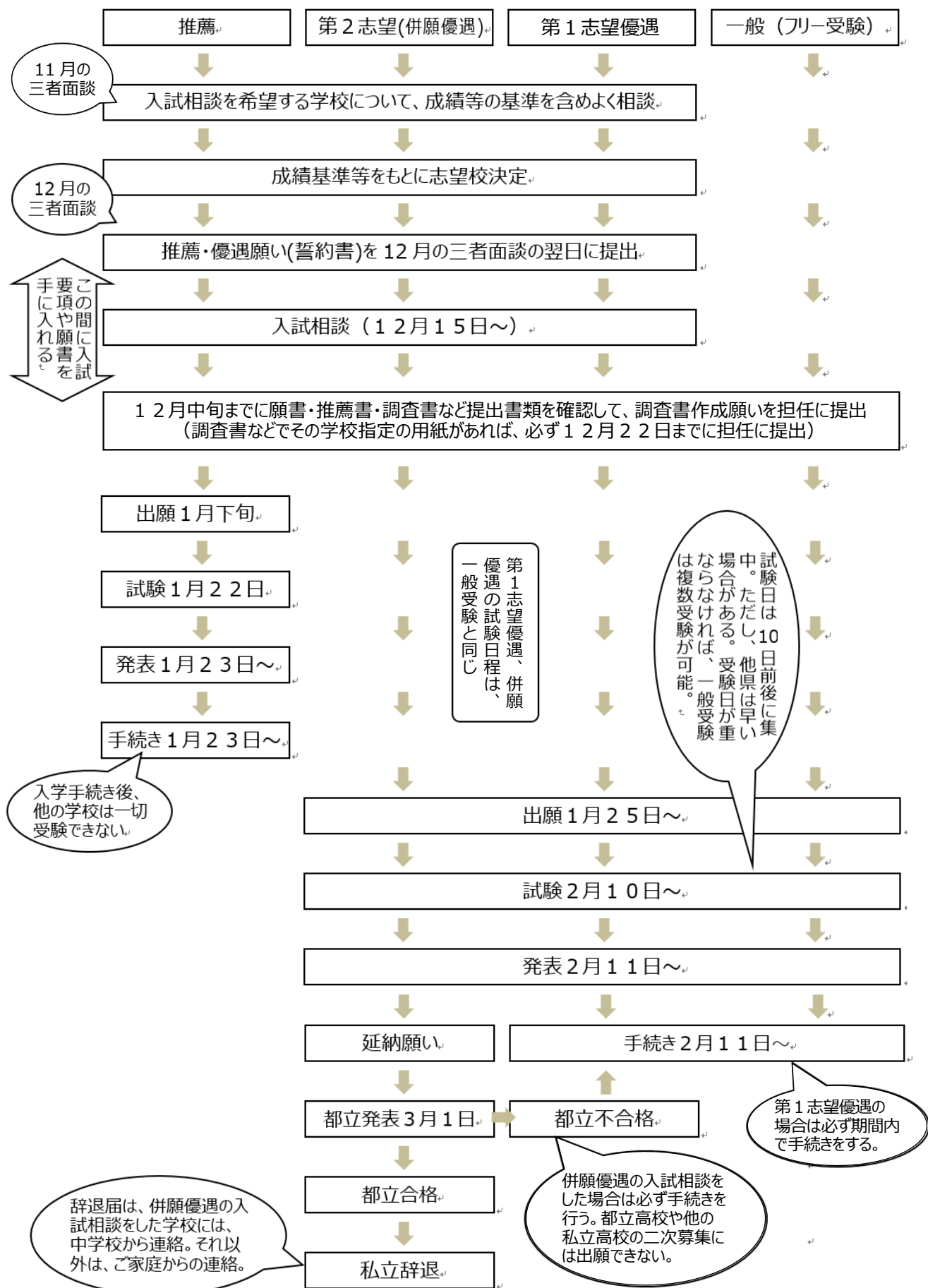
6 準備

- 面接・作文などの練習をして入試に備える
- 不合格の場合、すぐに一般入試を考えなければならない。また、合格後のことを考えて(クラス分けテスト等も考慮し)、しっかり最後まで学習に取り組む。

7 出願・入試・手続き(各私立高校の要項で確認する)

- 出願:1月18日頃から
- 入試:1月22日頃から
- 発表・手続き:その日の夕方、または翌日等すぐ
- ※合格の場合、手続きを確実に済ませる。(他校の受験・進学はできない)
- ※合格手続き後、クラス編成テストや入学後のこと、これから都立受験・一般受験をする友だちもいるので、最後まで気を引き締め学習や学校生活にしっかり取り組む。(過去には、問題を起こして、合格が取り消しになったこともあります。)

入試・発表までの流れ(フローチャート)



知っておきましょう

親展

- (1) 表に「親展」と書かれた封筒や郵便物は、その宛名の人以外は開封してはいけません。入試関係の「親展」の書類も開けてしまうと無効となり、受験(検)できない可能性もあります。宛先をよく確認してから、開封してください。また、提出物は余裕をもって、締め切りよりも早く提出する習慣をつけましょう。大切な書類への記入漏れや訂正などにも対応できます。
- (2) 受検者の検査結果は、中学校においても次年度に向けての重要な資料となります。都立高校の出願の際には願書裏面に、中学校への情報提供に同意することを示す生徒署名欄があります。インターネット出願の際にチェックを付けるとそちらに反映されるようになっておりますので、ご理解ご協力をお願いします。
- (3) 都立高校では、本人得点の開示及び学力検査における答案の開示を請求できます。

※要項P.32第5-1 本人得点の開示 参照

不合格者：	○推薦、一次・前期	… 令和9年3月3日(水) 受付開始	交付日令和9年3月15日(月)以後
	○後期・二次	… 令和9年3月16日(火) 受付開始	令和9年3月25日(木)以後
	○定時制二次募集以降	… 合格発表日に受け付け開始	合格発表日から8日目以後
合格者：	○全検査	… 令和9年5月1日(土) 受付開始	

※都立高校の窓口へ請求をする場合は、令和9年5月6日(木)を受付開始日とする。

※交付期限は、受付票に記載された交付日から3か月とし、交付期限までに受検者等が受領に來なかった場合は、当該請求を無効とする。

※合格者・不合格者とも受付終了日：令和9年8月31日(火)

保護者の方へのお願い ※ぜひお子さまと一緒にご確認ください。

① 進路希望や不安が先行して、平常の努力を怠っていないか

学校での授業に真剣に取り組み、自分の目標に向かってコツコツと努力していく姿勢が進路決定の最大のポイントになります。また、努力していく過程での習慣が上級学校での学習態度につながります。

② 基本的な生活習慣がしっかり身についているか

日常での中学生らしい服装、言葉遣い、態度、行動が受験生としての基本条件です。受験は、学力だけが判定されるのではなく、その生徒のもっているすべての要素が試されます。従って、付け焼刃的な準備は役に立ちません。面接で不合格にする学校もあります。また、推薦による受験の場合は、一中の全教員がその生徒を推薦することになり、今後、後輩の進路にも大きな影響を与えるものです。きちんとした生活態度を身につけるよう指導していきます。ご家庭でのご協力をお願いいたします。

③ 最後の決定は、ご家庭でお子さまを交えて相談してください

学校は、受験情報などを提供し相談に応じますので、遠慮なく相談してください。ただ、最終的には、ご家庭でお子さまと相談のうえ決定していただきたいと思います。お子さまの気持ちをしっかりと聞き、話し合ってください。

④ 進路関係の書類や提出物は、提出期限にご注意ください

募集要項などは、必ず目を通し、ミスのないようにご注意ください。しばしば、延納願い等の手続きミスがあります。お子さまと一緒に要項を読み、確認し合っておくことが大切です。なお、都立高校の推薦に基づく選抜、第一次募集・分割前期募集は、インターネットを活用した出願が導入されているので、紙の願書の提出は原則ありませんが、一部の高校については、出願に必要な書類をとりに行かなければいけない学校があります。また、私立高校を受験される場合は、その学校に行き、募集要項・願書などを購入してください。出願時に、その学校独自の調査書様式を提出しなければならない場合は、必ず担任に提出してください。ネット出願でのID登録、志願者情報の入力、振込、受験票のダウンロードや印刷など、ご家庭ですることが多くあります。保護者の責任でお願いします。

【巻末資料Ⅰ】ESAT-J YEAR3 の受験に関して

1. 試験日時

〈本試験〉令和8年11月22日(日) 12時30分までに集合 / 13時開始 / 15時40分散(予定)

〈予備日〉令和8年12月13日(日) 12時30分までに集合 / 13時開始 / 15時40分散(予定)

※予備日：インフルエンザ等学校感染症等の罹患等の理由で、本試日に受験することができなかった場合の追試験日。追試験を受験したい場合11月25日(水)～11月30日(月)までに、申請が必要となります。

2. 会場

東京都立三鷹中等教育学校

3. 試験当日

(1) 受験者は12時30分までに受験教室に着席します。

※受験会場への移動は原則徒歩又は公共交通機関を利用します。自転車での移動は禁止。

※前半と後半のどちらの試験を受験するかは、当日受験会場で発表されます。後半の試験が終了するまで、前半受験者は待機。後半の試験が終了後、預けたスマートフォン等が返却され、解散となります。

(2) 時程

時刻	受験者	
12:00～12:30	<前半・後半共通> 会場到着・受験教室入室(必要に応じて軽食可)	
12:30～13:00	試験会場着席 携帯電話等の通信機器の回収	
13:00～14:05	<前半組> ・本人確認 ・機器の配布 ・受験者情報の登録 ・機器の装着準備、音声・録音確認 ・スピーキングテスト実施	<後半組> 自習 (午後1時～午後1時50分) 休憩・トイレ (午後1時50分～午後2時5分)
14:05～14:20	教室待機(トイレに行くことはできません)	教室待機(トイレに行くことはできません)
14:20～15:25	休憩・トイレ (午後2時20分～午後2時35分) 自習 (午後2時35分～午後3時25分)	・本人確認 ・機器の配布 ・受験者情報の登録 ・機器の装着準備、音声・録音確認 ・スピーキングテスト実施
15:25～15:40	<前半・後半共通> 携帯電話等の通信機器の返却 帰宅の準備・解散	

※公共交通機関の遅延等により、実施時刻を最大1時間程度繰り下げることがある。

(3) 持ち物

- ・受験票(事業者より学校へ11月上旬に郵送予定、その後学校より配付)
- ・本人確認書類(生徒手帳カード・顔写真つき身分証明書等)
- ・受験案内11月22日(日)本試験日用(学校より10月28日に配布)
- ・上履き、靴を入れる袋(受験票で持参するよう指示がある場合)
- ・筆記用具 ※ただしテスト受験中に使用することはできません。
- ・自習時間に自習するための学習教材・書籍
 ※電子辞書やタブレット等の電子機器は不可
- ・軽食(必要な場合) ※試験時間に合わせて正午から午後0時30分の間に早めにとる
- ・飲み物

※携帯電話等の電子通信機器は、特に必要のない場合は、持ち込まないことを原則とします。
 なお、持ち込まれた携帯電話等の電子機器は会場にて回収し、試験終了後に返却します。

(4) 服装

学校指定の標準服

(5) 欠席の連絡

試験当日に欠席する、または欠席した場合は、事前に中学校から配布される「受験の手引き」及び「受験案内」で指定された連絡先に、11月20日(金)から11月23日(月・祝)までの期間に保護者が連絡します。なお、当日の電話による欠席連絡は必要ありません。

4. 不正行為及び禁止行為

不正行為・禁止行為として認められたものについては、テスト結果は「無」とし、追試験または再試験を認めません。

(1) 不正行為

- ア 受験者情報の虚偽(受験申込時・受験当日の入力事項)
- イ 電子機器及びスマートフォン等の通信機器の使用
- ウ カンニング
- エ カンニングの手助け
- オ 英文が表示されている着用品(衣類等)の着用(学校、ブランドの名称は除く)
- カ 自身や他の受験者が有利になるような虚偽の申出、タブレットの不具合について虚偽の申出
- キ タブレット端末等の機器の受験教室からの持ち出し
- ク 故意によるタブレット端末等の機器の破損
- ケ 試験監督等の指示に従わないタブレット操作
- コ 受験票以外のものを机の上に置くこと
- サ 解答終了の指示に従わないこと
- シ テスト実施中に、ヘッドセットを不必要に外す・過度に触ること
- ス 虚偽の情報に基づく各種申請
- セ 他の受験者の迷惑となる行為
- ソ 試験監督等の指示に従わないこと
- タ 指定された区域以外への立入
- チ その他、試験の公平性を損なうおそれのある行為

(2) 禁止行為

- ア 試験時間中に携帯電話などの音を鳴らすこと
- イ 本人確認が困難な顔写真を登録すること
- ウ 試験時間中に時計やストップウォッチ等、計時機能をもつ機器を使用・着用すること
- エ 視力矯正以外の機能を持つ眼鏡を使用・着用すること
- オ インフルエンザ等の感染症に罹かかっているにもかかわらず、受験すること
- カ 試験中に筆記用具を用いてメモを取ること

(3) その他

明らかに相手を侮辱する言葉や相手の尊厳を傷付ける言葉がタブレット端末に録音された場合は、解答を無効とするなど必要な措置を行う場合がある。

5. 追試験・再試験

(1) 追試験

受験者は11月22日(日)本試験日に受験することを原則とするが、本試験日にやむを得ない理由(病気、忌引、受験者本人の責めによらない理由等)で受験することができず、在籍中学校長が認め、かつ追試験受験申請により東京都教育委員会からの承認を受けた受験者は、12月13日(日)に追試験を受験することができる。

追試験の申請は、必要書類を作成の上、保護者による「保護者用マイページ」での申請

申請期間：令和8年11月25日(水)午前9時から令和8年11月30日(月)午後5時まで

<やむを得ない理由の例>

(ア) インフルエンザ等への罹患

(イ) 学校保健安全法第 19 条による出席停止

(ウ) その他、受験者本人の責めによらない、やむを得ない理由(病気による入院、交通事故による負傷、忌引等)

※なお、(ウ)において、次のような理由により、在籍中学校長が認め、東京都教育委員会が学校に状況を聞き取った上で妥当と判断される場合は、追試験の対象として承認する。

(例) 全国大会・国のプログラム等、進路・進学に係るもの、追試験への申請が必要な個別の事情があるもの
(いずれの場合も、原則として年間に1回程度の開催など、代替日の設定ができないものであること)

(2) 再試験

11月22日(日)本試験日に、会場において、本人の責めによらない理由により受験することができなかった受験者(試験当日に再試験の対象者であることを知らせる書類を渡された受験者)は、12月13日(日)に再試験を受験することができる。

※手続きについては業者が一括で行うので不要

※令和8年12月5日(土)以降に、「保護者用マイページ」又は「生徒用マイページ」から各自がダウンロード・印刷して、試験当日持参する。(白黒印刷可)

6. 個人レポートの取扱い

(1) 個人レポートの配布

中学校宛に1人2枚のスコアレポートが送付される

1枚が本人用。もう1枚は「都立高校提出用」。(使用しない場合は本人に返却する)

(2) 都立高校への提出について

一次募集・分割前期募集

出願時に「都立高校提出用」(原本)をその他の書類と一緒に提出する。

※対象外の高校(エンカレッジスクール、チャレンジスクール、英語の学力検査を実施しない学校、及びリスニング試験のない定時制課程)については提出不要。ただし都立高校に合格し、入学する際には、高校側が指定する期日に「都立高校提出用」の原本またはコピーを提出する必要がある。

推薦、分割後期・二次募集等

出願時の提出は不要。

※入学者選抜に合格して入学する場合は、入学関係書類提出日等、都立高等学校が指示した期日に「都立高校提出用」の原本又は写し(白黒印刷可)を提出する。

7. 音声データ提供

受験者本人が話した内容を解答例と照らし合わせて、よりよい表現を考えるなど、今後の英語スピーキング「話すこと」の力の向上のために、音声データの提供を受けることができる。

【申請の手続】

ア 保護者は、ESAT-J 専用ポータルサイト「保護者用マイページ」により、個人情報の取扱い等に同意の上、音声データ確認の申請をする。※手続詳細は、別途連絡する。

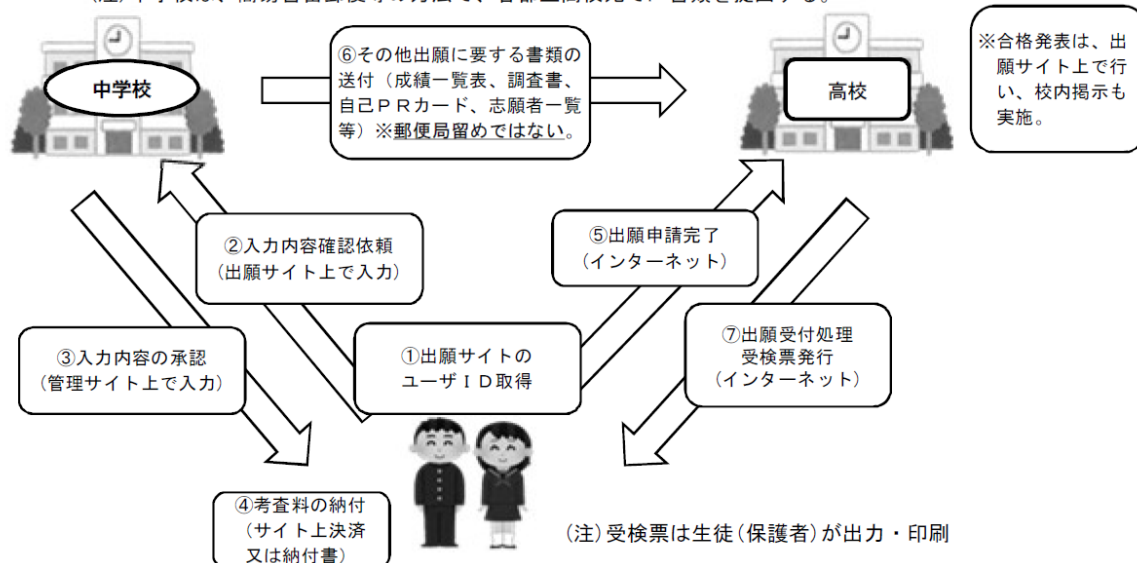
イ 保護者及び受験者は、ESAT-J 専用ポータルサイトの「保護者用マイページ」又は「生徒用マイページ」にて音声データの確認を行うことができる。

※なお、音声データの確認期間は、音声データの確認が可能となってから令和9年4月30日(金)までとする。そのため、音声データの確認を行う保護者及び受験者の ESAT-J 専用ポータルサイトの利用期間は、令和9年4月30日(金)までとし、ESAT-J YEAR 3 のテスト運営に必要な情報(顔写真、電話番号等)、ESAT-J YEAR 1 及び ESAT-J YEAR 2 の成績データ等は、令和9年5月1日(土)に ESAT-J 専用ポータルサイト上から削除する。

【資料2-1】 都立高校 インターネットを活用した出願について

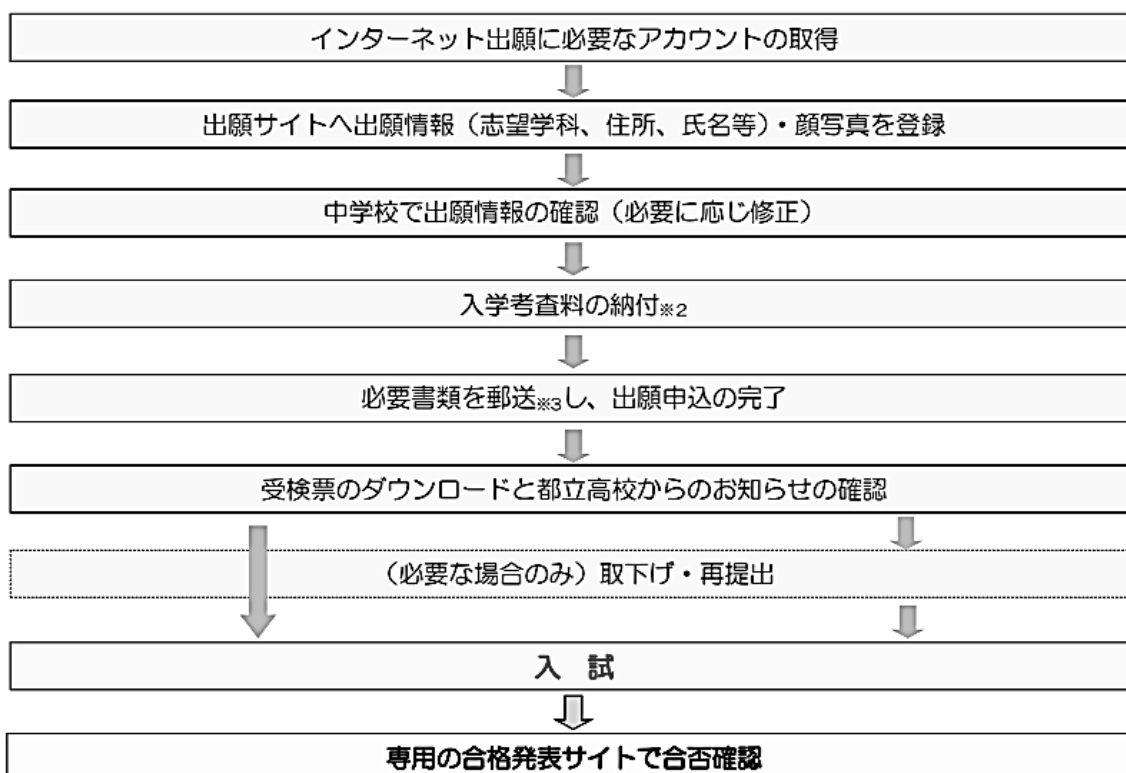
インターネットを活用した出願について

(注) 中学校は、簡易書留郵便等の方法で、各都立高校宛てに書類を提出する。



※やむを得ずインターネット出願を行えない志願者は所定の入学願書を用いて出願を行う。

6



※1 都外在住者・既卒者については手続きの流れが一部異なります。

※2 入学考査料の納付方法は、納付書他、クレジットカード払いも対応しています。

※3 郵送により提出する書類は、中学校を通じて各都立高校に送付します(都外在住者・既卒者を除く)。

○出願に際し、所定の出願書類の他、顔写真のデータを準備する必要があります。

○インターネットに接続できる環境(パソコン・スマートフォン・タブレット端末)が必要となります。また、受検票はご家庭のプリンターやコンビニエンスストア等で印刷する必要があります。

○事情があり、インターネット出願を行えない方については、別途対応があります。

【資料2—2】 都立高校 インターネットを活用した出願について

「令和9年度 東京都立高等学校に入学を希望する皆さんへ」P.61

令和9年度都立高校入試(推薦、第一次募集・分割前期募集、国際バカロレア(IB)コース、海外帰国生徒対象入試(4月入学)、在京外国人生徒等対象入試(国際高校)、通信制(前期選抜))において、インターネットを活用した出願(以下「インターネット出願」といいます。)を実施します。インターネット出願の手続きの流れは以下のとおりです。

		中学校が行うこと	保護者が行うこと
インターネット出願サイトにアクセス	出願サイトにアクセスし、ユーザIDを取得します。	☐	☐
顔写真の登録	顔写真データ(JPEG形式又はPNG形式)を用意し、出願サイトに顔写真を登録します。	☐	☐
志願者情報の入力	志願者氏名、生年月日、中学校名、保護者名、現住所等を入力します。	☐	☐
出願情報の承認 (中学校が行う)	中学校で出願情報の確認を行い、必要に応じて修正します。 内容に問題がなければ中学校が承認します。 ※都外の中学校等に在学している場合や、中学校等に在学していない場合は、この承認手続はありません。	☐	☐
入学考査料の支払い	中学校から出願の承認を受けたら、入学考査料の支払いの手続きができるようになります。 クレジットカード、コンビニエンスストア、Pay-easyによる支払い、納付書による支払いのいずれかを選択して支払います。	☐	☐
提出書類の郵送	【都内の中学校等に在学している場合】 出願に必要な書類は <u>在学している中学校</u> から都立高校へ、郵送により提出します。 【都内の中学校等に在学していない場合】 出願に必要な書類は <u>志願者本人(又は保護者)</u> から都立高校へ簡易書留郵便等により直接送付します。	☐	☐
取下げ・再提出 (必要な場合のみ)	※志願を取り下げた都立高校への再提出はできません。	☐	☐
受検票のダウンロード・印刷	都立高校で出願書類等の確認を行い、書類不備等がなければ受検票をダウンロードできるようになります。 受検票はご家庭のプリンターやコンビニエンスストア等で印刷をしてください。	☐	☐
入 試	検査日当日は、印刷した受検票を必ず持参してください。	☐	☐
合格発表	専用の合否照会サイトで、合否照会を行います。 合否の照会には、受検番号とパスワードが必要です。	☐	☐

※出願に際し、インターネットに接続できる環境(パソコン・スマートフォン・タブレット端末)が必要となります。

※事情があり、インターネット出願を行えない方については、別途対応を御案内します。

※本ページの記載は、令和8年度入試の内容に基づくものであり、今後変更が生じる可能性があります。

***ネット出願の登録、入力、振込など、保護者の責任でお願いします。**

【資料3】 私立高校 インターネットを活用した出願について(例)



***ネット出願の登録、入力、振込など、保護者の責任でお願いします。**

【資料4】 推薦受験(検)資格の認定について

令和8年 4 月 1 日
連雀学園三鷹市立第一中学校

推薦受験(検)資格の認定について

1. 学校推薦の趣旨

推薦制度は、本校と高等学校との信頼関係に支えられている制度であり、その信頼関係を損なうようなことがあれば、本校の下級生の来年度以降の受験に悪影響を及ぼすことにもなりかねません。推薦を希望する生徒は、日頃の学校生活において、本校の目指す生徒として、また高等学校が求める生徒としてふさわしい自覚と言動を心がけてください。

2. 推薦認定の基準

都立・私立推薦制度の利用希望者は、以下の項目をすべて満たしていることが条件となります。
なお、推薦の認定については、学校全体で検討し、最終決定は学校長が行います。

- ① 志望校(学科、コース)に対する興味・関心があり、志望目的が明確でその理由が適切であること。
 - (1) 志望校への入学を強く希望しており、合格後は必ず進学することを確認できる。
 - (2) 志望校を本人が個別相談・見学をしている。
 - (3) 志望理由や入学後にやりたいことがはっきりしている。
 - (4) 入学後、学習活動だけでなく、生徒会・行事・部活動等に参加し、高等学校卒業までその意欲を継続することができる。
- ② 学校生活を健全かつ良好に過ごしており、三鷹一中を代表することを自覚し、中学校在学中および志望校進学後もその姿勢を確実に継続できること。
 - (1) 時間を守り、出席状況が良好である。
 - (2) 学校の指導を受け入れることができ、社会や学校のルールを遵守して学校生活をおくっている。
 - (3) 主体的に学習に取り組み、学習状況が良好である。
- ③ これらの条件に加えて、高等学校の定める基準を満たしていること。

【巻末資料5】 都立高校 入学者選抜における各種手続き様式

●出願書類における注意事項等	
●入学願書記入例	
●様式(抜粋) ・文化・スポーツ等特別推薦書(様式2) ・東京都立高等学校 入学願書／受検票〔特別推薦・一般推薦〕(様式3) 表・裏 ・東京都立高等学校 入学願書／受検票 〔全一次・分割前期・定時一次共通様式〕(様式4) 表・裏 ・東京都立高等学校 入学願書／受検票 〔分割後期・全二次共通様式〕(様式5) 表・裏 ・東京都立高等学校 入学願書／受検票〔定時制第二次募集〕(様式6) 表・裏 ・成人受検者特別措置申請書(様式9) ・自己申告書(様式13) ・具申書(様式14) ・島しょからの転居に関する申立書(様式15) ・島しょへの転居及び身元引受人に関する申立書(様式15-2) ・志願変更願(様式16) ・学力検査等実施上の配慮申請書(様式24) ・選考の特例申請書(様式25) ・事故や病気等による学力検査等実施上の配慮申請書(様式26) ・インフルエンザ等学校感染症罹患者に対する措置申請書(様式27) ・引揚生徒対象志願者の状況申立書(様式29) ・引揚生徒の都立高等学校受検に対する配慮申請書(様式30) ・日本語指導が必要な生徒等の都立高等学校受検に対する学力検査等実施上の配慮申請書(ルビ付問題・辞書持込み)(様式31)	

●自己PRカード

※令和9年度の様式はまだアップロードされていませんが、様式は例年通りです。

A21 自己PRカードは、志望理由や皆さんが中学校で取り組んできた学習や様々な活動から得たことなど、志望校に最も伝えたいことを記入して提出するものです。

自己PRカードを点数化することはありませんが、面接を行う場合の面接資料や入試の合格判定資料の一部として活用したり、学校生活に対する意欲等を確認したりする資料になります。

面接を実施する高校を志願する場合は、この自己PRカードを出願時に志願する高校へ提出します。

面接を実施しない高校を志願する場合は、提出の必要はありません。



(様式12) (A4判)

受験番号	※	コース・科(分野)・組	受験番号	※	コース・科(分野)・組
志望校	※		一般推薦	※	
推薦等	※		一般選抜	※	
特別推薦	※				

自己PRカード

東京都立 _____ 高等学校長 殿 _____ 年 ____ 月 ____ 日

_____ 立 _____ 中 学 校

氏 名 _____

1 志望理由について
(この学校を志望した理由と入学してから自分が取り組みたいと思うことなどについて『本校の期待する生徒の姿』を参考に記入しましょう。)

「本校の期待する生徒の姿」を参考にしたり、学校案内やパンフレット、学校のホームページを見たりして、各学校の特色をよく理解してから記入するとよいでしょう。

2 中学校生活の中で得たことについて
(中学校生活の中で自分が特に伝えたいことを学校内外で体験したことから選び、そこから自分が得たことについて具体的に記入しましょう。)

3年間の中学校生活において、
 ① 総合的な学習の時間で学んだこと
 ② 学校内での学級活動、生徒会活動、学校行事や部活動など
 ③ 学校外での文化的な活動、スポーツ活動、ボランティア活動や資格・検定などの取得
 ④ その他の活動
 などの中から、特に伝えたいことを選び、あなたがその体験から得たことについて具体的に記入しましょう。

3 高等学校卒業後の進路について
(将来の夢や目標、将来やりたい職業など、高等学校卒業後の進路について自分が考えていることを具体的に記入しましょう。)

① 今自分が思い描いている将来の夢や目標
 ② 将来やりたい職業、その職業に就きたい理由、その職業に就くことができるよう努力していることなど
 ③ 高校卒業後の具体的な進路など
 について、自分が考えていることを具体的に記入しましょう。

(注意) 1 志願者が手書き又は電子ファイルへの入力及び印刷により作成する。手書きにより作成する場合は、黒のペン又はボールペンで記入する。ただし、欄外に伴う過度な変形により読み取りが困難な場合は、コピー等鮮明な複製のものを認める。
 2 推薦に基づく選抜を志望する者、学力検査に基づく選抜において面接を実施する都立高校を志望する者は、この自己PRカードを出願時に提出する。また、面接の対象となる者、一般の学力検査における引継生徒の受検についての配慮又は定時制成人受験者特別措置により受検する者についても、出願時に提出する。
 3 ※欄外は記入しない。

※チャレンジスクールの各学校に出願する場合は、自己PRカードの代わりに、所定の「志願申告書」を提出します。

※インフルエンザ等学校感染症罹患患者等に対する追検査では、面接を実施する学校があります。

●令和9年度「本校の期待する生徒の姿」(全日制課程)



●令和9年度「本校の期待する生徒の姿」(定時制課程・通信制課程)

